



第2期
麻生区区民会議報告書

心が響きあう地域づくり

2010(平成22)年
麻生区区民会議

第2期の報告書の刊行によせて

麻生区区民会議が発足して4年が経過し、第2期の区民会議の報告を皆様にお届けすることになりました。第2期の区民会議は、平成20年7月に第1期からの継続委員6名と新しい委員14名の計20名で発足いたしました。

第2期の区民会議では、第1期の審議事項を踏まえ、継続する課題と新しい課題の検討を行い第2期の取組課題について審議検討しました。

「心が響きあう地域づくり」のメインテーマについては引き継ぐこととし、課題を整理した結果、専門部会の地域交流部会と環境部会の2つの専門部会を立ち上げることにしました。調査審議は部会が中心となり進めてきました。区民会議委員は2つの専門部会のいずれかに所属することになっています。また第1期と同様に企画部会を置き、区民会議全体に関わる問題の検討や広報広聴に関すること等を行ってきました。

企画部会では、第1期から引き継ぎました「高齢者が輝く地域づくり」を受け、提案された事項についての推進に努め効果をあげることができました。広報の発行についても、区役所の協力を得ながら、委員が主体的に携わり、発送を行うなどの業務についても改善に取り組みました。

地域交流部会では、第1期の継続として「あいさつが交わしあえる地域づくり」の事例集を作成し、町会・自治会と連携して進めることにしました。また麻生区は、「音楽のまち川崎」「芸術のまち麻生」を受けて、「アルテリッカしんゆり」を開催するなど文化・芸術に関心を寄せる区民も多くいることから、芸術祭には子どもの絵画展などの企画・運営を行いました。また新しい区民も多いことから異世代間交流を行うための「エコバックづくり」を学生とのコラボレーションで行いました。地域の活動拠点の見直し等のための「子ども文化センター」については、今後どのように展開するのが望ましいかについて調査結果を審議し市民の活動の場を少しでも広げることができるよう試みました。

環境部会では、「エコのまち麻生」をキャッチフレーズに環境問題を審議し、生ごみリサイクル問題、地産地消に取り組むなど精力的に行いました。また少しでも温暖化防止に寄与でき、次世代につながるものとして「麻生区のエコカルテ」を作成しました。

第2期の区民会議では、調査審議するばかりでなく、モデル事業も行い、区民にアピールすることによって区民に密着した区民会議となるように努めました。

1年目は地域に出向く出前フォーラムを開催し、区民の意見を聞き区民会議が区民に身近な存在となるように試みました。2年目には、環境部会が中心となった「生ごみリサイクルと地産地消」のフォーラムを行い、専門家、地域で活動をされている人を交え、多くの共感を得ることができました。今期のまとめのフォーラムでは、町会・自治会を交え地域づくりに焦点をあわせたフォーラムとしました。区民会議と町会・自治会が連携してこそ、よいまちづくりができると実感しました。

区民会議が区民から遠い存在とならないように、また区民の意向をできる限りくみ取ることができるよう努力してきましたが、まだ知名度の低いのが現状です。

今後とも区民会議がより活発に活動し、麻生区の区民と協働して活動できることを願っています。麻生区が安心・安全で住みやすく、心豊かなまちであるために、区民・区民会議・区役所が連携することの大切さを実感した第2期の区民会議でした。そして第3期へと活動が続きますが、より一層のご協力とご支援をお願いいたします。

麻生区区民会議委員長 西谷明子

目 次

1	第2期麻生区区民会議について	1
	(1) 麻生区区民会議とは	
	(2) 麻生区区民会議の審議の流れ	
	(3) 専門部会の役割	
	①企画部会	
	②地域交流部会	
	③環境部会	
2	検討テーマ（地域課題）の選定について	6
	(1) 第1期区民会議からの引き継ぎ事項	
	(2) 第2期区民会議委員からの提案	
3	検討テーマ（地域課題）の審議と取り組みについて	8
	(1) 企画部会の取り組み	
	①高齢者が輝く地域づくり	
	②広報・公聴	
	(2) 地域交流部会の取り組み	
	①市民活動推進	
	②文化芸術のまちづくり	
	③異世代間交流	
	④地域のつながり「あいさつ」がはじまり	
	(3) 環境部会の取り組み	
	＜エコのまち麻生の推進～持続可能な地域社会の創造を目指して＞	
	①生ごみリサイクルと地産地消	
	②環境教育資料づくり「エコカルテ」	
	③他団体への協力「環境家計簿」	
	(4) 提言	
4	区民会議フォーラムについて	30
	(1) 区民会議出前フォーラム	
	(2) 生ごみリサイクルと地産地消フォーラム	
	(3) 区民会議フォーラム	
5	第3期麻生区区民会議に向けて	42
6	資料	49
	①麻生区区民会議委員・参与名簿	
	②第2期麻生区区民会議の活動の経過	
	③麻生区区民会議における広報等の主な取り組み	
	④関係規程	

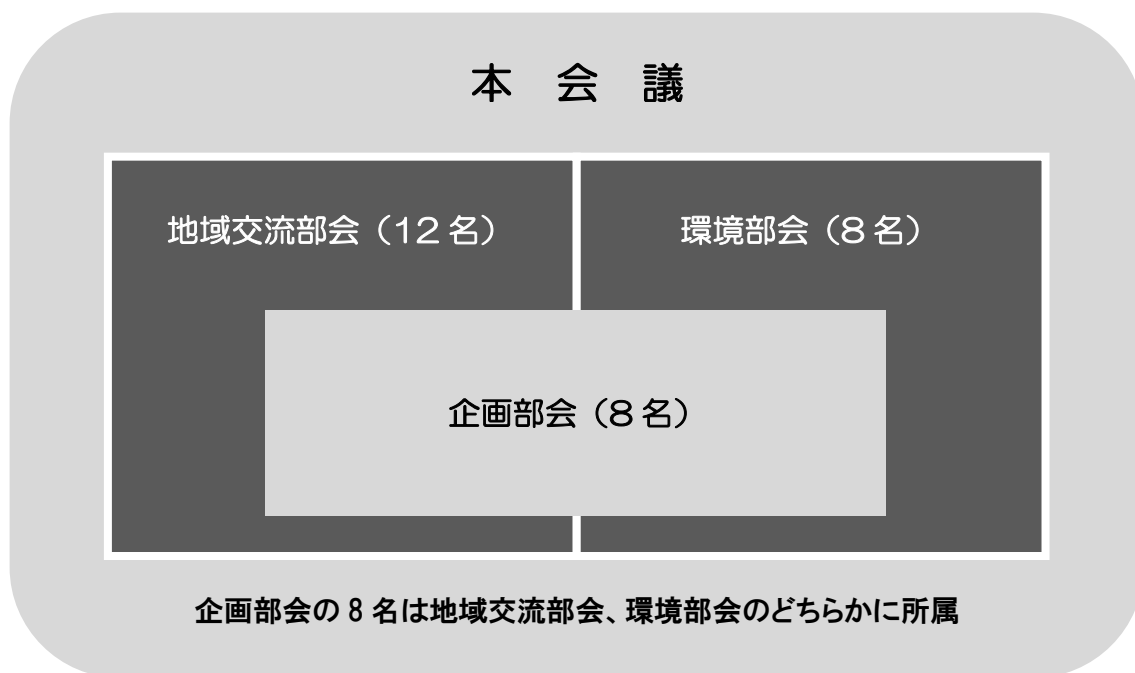
1 第2期麻生区区民会議について

1 麻生区区民会議とは

川崎市では、市民の参加と協働によって暮らしやすい地域社会を築いていこうという考えのもと「川崎市自治基本条例」を制定(平成17年4月1日施行)しました。区民会議は、この条例が目指している「市民自治によるまちづくり」を進めるために平成18年4月から各区に設置され、地域の課題を区民が主体的となって解決するためにどうすればよいかということをお話し合う会議です。

麻生区区民会議は、第1期(平成18年7月～平成19年6月)の2年間で3つのテーマについて議論を行い、地域や区民が主体となった課題解決に向けた取り組みを進めてきました。平成20年7月に2期目を迎えて新たな体制でスタートした麻生区区民会議は、第1期の全体テーマである「心が響きあう地域づくり」を引き継ぎ、第1期の取り組みや成果を活かしてだれもが暮らしやすいまちづくりを目指して課題の解決に向けた調査審議を行いました。

区民会議は以下の構成となっています。



第2期麻生区区民会議任期
平成20年7月1日～平成22年6月30日

2

麻生区区民会議の審議の流れ

①全体テーマ

第2期区民会議では、第1期区民会議の全体テーマである「心が響きあう地域づくり」が、どの活動にも目標となりうる共通の方向性をもっていることから、第2期も引き続き全体テーマとすることにしました。

②地域課題の把握・整理

区民会議では、「委員が日頃の活動等を通じて把握した課題」「区民の暮らし、地域社会が抱える課題」「区役所が業務等を通じて把握した課題」(P4の表を参照)の整理・調整を行いました。

③本会議の開催

本会議では、整理された課題を共通するキーワード「地域交流」と「環境」に分類し、調査審議の事項の選定、調査審議の方法を決定、課題解決策の検討等を行いました。

本会議は全部で8回開催しました。

④専門部会の設置

区民会議では、課題の整理・調整、議事の事前調整、広報等を担う企画部会を設置しました。企画部会は全部で7回開催しました。

また「地域交流部会」「環境部会」を設置し、第1期から引き継いだ事項や本会議で整理された課題について調査審議を行いました。地域交流部会は全部で11回、環境部会は全部で12回開催しました。



⑤広報・公聴

(区民会議ニュースの発行)

第1期から引き続き、委員が手づくりの区民会議ニュースを発行しました。区民会議ニュースは企画から原稿作成、印刷、袋詰め作業、町会・自治会あて発送作業など、委員自らが行いました。区民会議ニュースは全部で第1号から第6号まで発行しました。

また町会・自治会の協力を得て回覧いたしました。

(提案箱の設置)

いつでも、だれもが区民会議に対して意見を言えるようにしようということで、第1期に引き続き、区役所ロビーに区民会議提案箱を設置しました。また第1期に引き続き、区民会議の傍聴者アンケートを実施するなど公聴活動にも力を入れました。

(ホームページに会議の摘録を掲載)

平成21年2月に開催した区民会議出前フォーラムの意見交換の場で、区民会議のホームページに「会議の摘録を掲載してほしい」との意見があり、本会議において協議した結果、第2期区民会議の開催当初に遡り、本会議・専門部会ともに区民会議のホームページに摘録を掲載することとしました。

(出前フォーラムの開催)

区民の方々に区民会議をもっと知ってもらおう、区民の方々と意見交換をしようということで出前フォーラムを開催しました。区役所から外に飛び出し、区内3箇所で開催しました。

平成21年
2月21日(土)
13:00~15:30

北部リハビリテーション
センター会議室

平成21年
2月28日(土)
13:00~15:30

麻生区役所
柿生連絡所会議室

平成21年
3月1日(日)
13:00~15:30

はるひ野黒川
地域交流センター
ホール

(区民会議フォーラム)

第2期区民会議の取り組み状況を区民の方々への報告と意見交換をするためのフォーラムを開催しました。

平成22年
2月7日(日)
13:00~16:00

麻生区役所
第1・2会議室



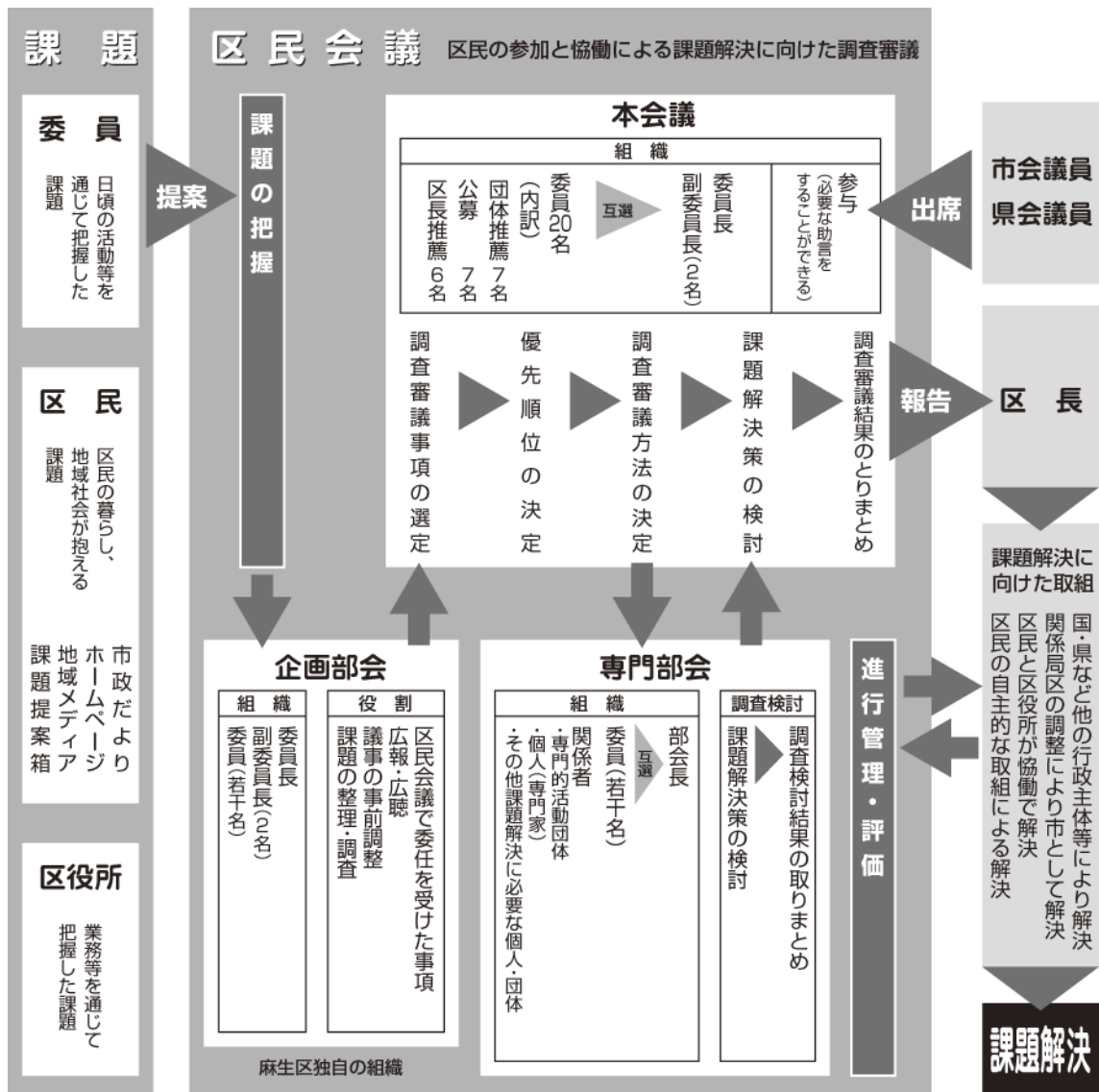
⑥調査審議のパターン

麻生区区民会議では、地域の課題の解決に向けた検討を行うにあたって、次の2つのパターンで調査審議を行いました。

パターン1 「調査審議」▶ 提言
区民会議委員が分担して調査を行い、調査結果を踏まえ提言する。

パターン2 「調査審議」+「モデル事業実施」▶ 提言
区民会議委員が調査審議の過程で、他の団体と協働してモデル事業を行い、その結果を踏まえて提言する。

■麻生区区民会議の機能イメージ



3

専門部会の役割

①企画部会

(設置目的・役割)

区民会議運営の事前調整、課題整理、広報・公聴などを行うことを目的に第1期に引き続き企画部会を設置しました。本会議の1週間程度前に定例的に開催するほか、臨時に数回開催しました。

(構成員)

構成員8名。

区民会議の正副委員長に加え、各部会の部会長と立候補した委員によって構成。

②地域交流部会

(設置目的・役割)

第1期からの継続テーマ「地域のつながり『あいさつ』がはじまり」のほか、委員が日頃の活動を通じて把握した課題等の中から「文化芸術のまちづくり」「異世代間の交流」「市民活動推進」が挙がり、その課題の調査審議を行うことを目的に地域交流部会を設置しました。

(構成員)

構成員12名。立候補した委員によって構成。

③環境部会

(設置目的・役割)

委員が日頃の活動を通じて把握した課題等の中から「区民の身近なエコの取組の推進」が挙がり、第1期からの継続テーマ「地元農産物と地域交流」を含めたかたちで「エコのまち麻生」を取組課題とし、その課題の調査審議を行うことを目的に環境部会を設置しました。

(構成員)

構成員8名。立候補した委員によって構成。

2 検討テーマ（地域課題）の選定について

1

第1期区民会議からの引き継ぎ事項

全体テーマ 心が響きあう地域づくり

第1期の区民会議では、だれもが住みやすく、安心して暮らせるまちであるためには、人と人のコミュニケーションが大切であることから、全体テーマを「心が響きあう地域づくり」としました。

このテーマは、今後の地域づくりの基本であり、第2期の区民会議においても引き継いでほしいとの意見がありました。

個別テーマ 地域のつながり「あいさつ」がはじまり

第1期の区民会議では、人と人をつなぐ始まりは「あいさつ」であることから、「あいさつ」を通じて子どもの見守りを行うなど、防犯パトロールの支援(防犯パトロール用ベストや腕章等の貸与)を行いました。

次期の区民会議では、さらに地域のコミュニティづくりを進めるために、町会・自治会、市民活動団体が取り組んでいる先進的なコミュニティづくりの事例を調査し、その事例を地域の中に広めてほしいとの意見がありました。

個別テーマ 高齢者が輝く地域づくり

第1期の区民会議では、元気な高齢者が地域活動に参加するなど、どのように地域づくりにつなげていくかということで、老人いこいの家の調査を行いました。その調査結果に基づき、老人いこいの家の活性化(案)をまとめました。

次期の区民会議では、老人いこいの家の活性化(案)を担当部署に送付、改善等を依頼してほしいとの意見がありました。

個別テーマ 地元農産物と地域交流

第1期の区民会議では、麻生区の特長である「農」に着目し、どのように地域づくりにつなげていくかということで、区内の小中学校あてに食育等の取組状況、学校農園の状況、学校と地域との連携・交流等について調査を行いました。調査結果については、各学校に配布して情報共有をしてもらいました。

次期の区民会議では、「農」「食育」などを通じた地域づくりを引き続き進めてほしいとの意見がありました。

2

第2期区民会議委員からの提案

第1回区民会議本会議において、委員が日頃の活動を通じて把握した課題等を挙げてもらい、大きく分類すると、次の課題が挙がりました。区民会議では、第1期からの引き継ぎ事項や第2期の委員から挙がった課題を整理するために、企画部会を設置し、課題の整理・調整を行うことにしました。

文化芸術の
まちづくり

異世代間の
交流

市民活動
推進

エコのまち
麻生の推進

企画部会では課題を整理し、第2回区民会議に以下のように提案し、承認されました。

第1期の取組課題である「高齢者が輝く地域づくり」については、高齢者部会の中で取りまとめた「老人いこいの家の活性化(案)」を担当部署に送付するとともに、企画部会の中でその動きを見ることになりました。

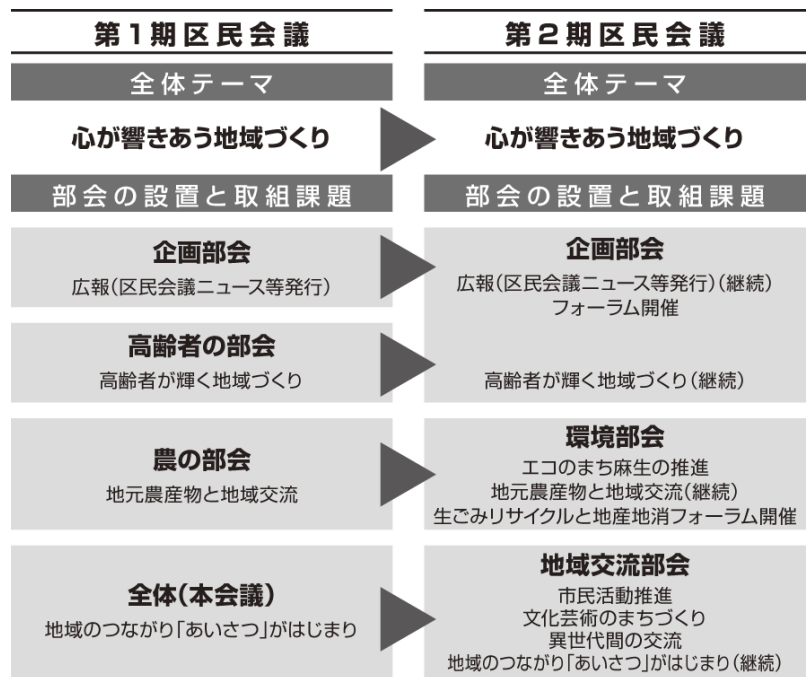
第2期で提出された審議課題は、多岐にわたっているものの、大きく「地域交流」と「環境」のどちらかに関係すると考えました。

「地域交流」については、「文化芸術」を挙げた委員が2名、「チョイボラ」といった市民活動の推進、「コミュニティづくり」、「異世代間の交流」、「子育て」といった課題を挙げた委員が各1名ずつおり、第1期の取組み課題である「地域のつながり『あいさつ』がはじまり」を含めて「地域交流部会」を設置することとしました。

「環境」については、「地球温暖化」を含めた自然・環境にかかわる課題を挙げた委員が4名、「緑の保全」を挙げた委員が1名おり、第1期の取組み課題である「地元農産物と地域交流」を含めて「環境部会」を設置することとしました。

●検討テーマの整理

整理されたものを図に表すと次のとおりになります。



3 検討テーマ（地域課題）の審議と取り組みについて

1

企画部会の取り組み

①高齢者が輝く地域づくり

企画部会では、第1期の区民会議でまとめた「老人いこいの家の活性化(案)」を担当部署である健康福祉局高齢者在宅サービス課に送付するとともに、できるものについては取り組んでほしいとの依頼をしました。

その結果、第2期の任期中に次の2点について実現することになりました。

老人いこいの家・老人福祉センターの愛称募集

- ・第1期区民会議の高齢者部会で老人いこいの家の調査をする中で、施設の名称に「老人」とつくので行きたくないといった意見がありました。今回、愛称という形ではありますが、名称が変わることになり、利用が増えることになると期待しております。
- ・区民会議としても、提言した内容が実現したということで、各委員が愛称募集に応募することになりました。また第1期の区民会議委員にも提言が実現した旨の手紙と応募用紙を送り、応募するよう依頼しました。

愛称募集期間

平成21年12月11日(金)～平成22年2月12日(金)

応募方法

所定の応募用紙に愛称とその理由を記入して健康福祉局高齢者在宅サービス課に提出

老人いこいの家・老人福祉センターのアンケートの実施

- ・第1期区民会議の高齢者部会で老人いこいの家の調査をする中で、施設、設備といったハード系の提案や開館時間や開館日といったソフト系の提案を行いました。
- ・今回よりよい施設を目指すという目的で、現在施設を利用している方、利用していない方、60歳前の方からの声を聞くということになり、アンケートを実施することになりました。
- ・アンケートの項目では、開館時間や日曜日・祝日の開館といった項目もあり、区民会議が提案した項目がアンケートの中に盛り込まれています。
- ・区民会議としても、提言した内容の実現が近づく第一歩として、アンケートに参加することになりました。また第1期の区民会議委員にも、アンケート用紙を送り、参加するよう呼びかけました。

アンケート実施期間

平成21年12月11日(金)～平成22年2月12日(金)

応募方法

所定の応募用紙に愛称とその理由を記入して健康福祉局高齢者在宅サービス課に提出

②広報・公聴

広報・公聴の取組はP3を参照。

2

地域交流部会の取り組み

①市民活動推進

地域拠点施設「こども文化センター」の調査

- ・地域の拠点施設の一つとして「こども文化センター」などが位置づけられており、それぞれが市民活動支援の場の提供などを行っています。
- ・しかし、次のような課題が挙がりました。
 - 各拠点施設間の連携、情報の共有・発信が足りないのではないか
 - 各施設の利用方法や相談窓口事業の広報など工夫が必要ではないか
- ・これらの課題を踏まえ、こども文化センターが「市民活動の地域の拠点としてどのような使われ方をしているか」などについて事前アンケート結果を基に、こども文化センターに出向き、ヒアリング調査を実施することとしました。

ヒアリング調査

●実施日

平成21年8月～9月

●場所

区内10箇所のこども文化センター

●実施内容

アンケート調査を実施後、結果を踏まえ、区民会議委員が分担して各こども文化センターを訪問、ヒアリング調査を実施

●実施結果

- こども文化センターは子どもの利用が最優先の施設だが、子どもたちの利用がない場合に限り市民活動としての利用が可能である。
- 地域の拠点としての認知度が低く、利用団体が固定化している傾向がある。
- 現在は利用数がそれほど多くなく調整できているが、市民活動での利用希望が多くなった場合、利用制限が必要と思われる。

提言

- 地域拠点施設としてのこども文化センターの認知度が低いため、積極的な広報が必要である。
- 「区役所」のホームページ、市政だより区版を使った広報が必要である。
- 利用促進のためのチラシ等を作成する必要がある。
- 区内全てのこども文化センターが連携した取組みや「地域の拠点」施設の利用促進を図るために、まずは情報交換の場を設けられるよう働きかけていく必要がある。また、それらを通じ、市民利用促進に向けた具体的取組みに結びつくことを期待する。
- 将来的に、こども文化センター以外の市民活動支援の場を増やしていくべきである。第1期で行った「老人いこいの家」の利用についての提言なども踏まえ、引続き区民が利用しやすい施設運用への提案など行っていく必要がある。また、より市民が使いやすい施設とするため、将来的には条例改正も含めた検討を期待する。

ヒアリング事前調査表

1. 利用者数・登録団体などについて

- ①前回調査で、直近3年間の利用者数が大幅に変動していた施設について、その主たる原因として、どのようなことが考えられますか？(片平・千代ヶ丘子ども文化センターのみ)

例: イベント開催を多したため、来館者が増加した。

- ②登録団体数は、いくつありますか？ _____ 団体

- ③登録団体の内、貴センターを利用して活動している団体の活動状況をお答えください。

* 別紙によりご回答ください。

2. 施設貸出し方法について

- ①登録団体へは、全ての部屋(但し事務室を除く)が貸出し対象になっていますか？

はい ・ いいえ

↓ 「いいえ」と答えた方のみ

貸出し対象になっていない部屋名

- ②同一時間帯に貸出ししている部屋数は何部屋までですか？ _____ 部屋

- ③1団体が1度に借りられる部屋数は、最大何部屋までですか？ _____ 部屋

- ④登録団体が利用することが多い部屋はありますか。

はい ・ いいえ (特に利用頻度の高い部屋はない)

↓ 「はい」と答えた方のみ

部屋名 _____

- ⑤登録団体から利用申請がされて、貸出しできないことがありますか？

度々ある ・ たまにある ・ ない

具体的には、どのような場合ですか？(「ない」と答えた方以外お答えください)

⑥団体からの施設貸出し希望が現在より多くなった場合、問題は起きますか？

はい ・ いいえ

↓ 「はい」と答えた方のみ

具体的にどのような問題が予想されますか？

例：一般利用する部屋の制限が増え、児童厚生施設としての活動に支障が出る可能性がある。

3. 地域への広報活動について

①「こども文化センターだより」等を地域住民の方へ広報をしていますか。

はい ・ いいえ

↓ 「はい」と答えた方のみ

具体的にどのような方法で行っていますか？

例：自治会に回覧を依頼している。

4. 「老人いこいの家」との連携について

*「老人いこいの家」と合築している施設のみお答えください。

①「老人いこいの家」と合同で行事を行うことはありますか？

はい ・ いいえ

↓

「はい」とお答えされた方は、具体的に実施した行事内容を御記入ください。

「いいえ」とお答えされた方は、やっていない理由と新たに実施する場合の課題等を御記入ください。

5. その他

こども文化センターが「地域の拠点」として位置づけられていることについて、御自由に御意見等を御記入ください。

*ヒヤリング終了時に事務局にご提出ください。

ヒアリング調査結果

	麻生	王禅寺	岡上	柿生				
1.利用者数・登録団体								
①直近3年間の増加理由 (急増した片平・千代ヶ丘のみ)								
②団体数	30	13	13	9				
③登録団体	ジャンル	団体数	ジャンル	団体数	ジャンル	団体数	ジャンル	団体数
	子育て	12	子育て	4	子育て	6	子育て	1
	スポーツ・健康	10	スポーツ・健康	6	スポーツ・健康	4	スポーツ・健康	3
	音楽	1	音楽	2	音楽		音楽	1
	その他	7	その他	1	その他	3	その他	4
	利用頻度別	団体数	利用頻度別	団体数	利用頻度別	団体数	利用頻度別	団体数
	月1～2回程度	16	月1～2回程度	9	月1～2回程度	12	月1～2回程度	7
それ以下	14	それ以下	0	それ以下	1	それ以下	2	
2. 施設貸出し								
①貸出し部屋 (貸出ししていない部屋)	一部 学習室	全部	一部 遊戯室	一部 遊戯室				
②同一時間帯の貸出し数	4	5	4	4				
③1団体が貸しられる部屋数	3	1	原則 2、児童健全育成	4 1				
④利用が多い部屋	集会室・乳幼児室	集会室		集会室				
⑤貸出しできない時 (貸出しできない理由)	度々ある 利用希望が重なったため	たまにある 館内整備・行事のため	ない	度々ある 休校日				
⑥貸出し希望が増加した場合	部屋によって希望が多くなり調整が必要になる。	公平性に利用できるようルール作りが必要	一般利用者で問題を抱えた方もおり、その方々が利用しにくくなる可能性がある。	部屋によって希望が多くなり調整が必要になる。				
3. 地域への広報活動について (こ文ニュースほか)	地元町内会を通じ各戸配布	地域版を年5～6回作成し、地元町内会へ配布	地元町内会を通じ回覧	地元町内会を通じ回覧				
4. 「老人いこいの家」との連携								
①老人いこいの家との合同行事は (老人いこいの家との合築施設のみ)	実施していない 指定管理者も違うため、特に情報交換は行っていない。	実施していない 行事の時に設備を借りることがある。行事に参加してもらった際の事故発生時の対応などに課題がある。	実施している 輪投げ大会					
5. その他	<p><主な回答></p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども中心の施設ではあるが、地域の方にも利用してもらえるよう働きかけている。 こども文化センターで実施する行事を地域の方が楽しみにされている方も多く、それらを通じて更なる地域との信頼関係を築いていきたい。 利用が多い部屋は、これ以上の利用希望が出てきた場合は調整(抽選など)も必要と考える。 他区で、自治会の会報にこども文化センターの記事を掲載している事例があるので、地域との連携を図って広報活動などにも力を入れていきたい。 地域の子育ての拠点機能の拡充や中高生の居場所づくりの利用拡充などが求められており、現状の施設の状態などから新たな市民活動団体の利用については困難な面がある。 							

片平		千代ヶ丘		虹ヶ丘		白山		東百合丘		百合丘	
幼児専用ルームにしたことで、親子連れの利用者が急増した。また、小学生のクラブの開設や行事を企画した結果、大幅に利用者が増えた。		万福寺地区の開発が終わり、転入者が大幅に増加した。運営協議会発行のチラシ(年2回)で、こ文利用方法などについて広報している効果もある。									
22		13		4		12 音楽室利用 43		13		21	
ジャンル	団体数	ジャンル	団体数	ジャンル	団体数	ジャンル	団体数	ジャンル	団体数	ジャンル	団体数
子育て	13	子育て	7	子育て		子育て	2	子育て	3	子育て	1
スポーツ・健康	6	スポーツ・健康	4	スポーツ・健康	4	スポーツ・健康	8	スポーツ・健康	6	スポーツ・健康	3
音楽		音楽		音楽		音楽	1	音楽	1	音楽	6
その他	3	その他	2	その他		その他	1	その他	3	その他	11
利用頻度別	団体数	利用頻度別	団体数	利用頻度別	団体数	利用頻度別	団体数	利用頻度別	団体数	利用頻度別	団体数
月1～2回程度	8	月1～2回程度	13	月1～2回程度	4	月1～2回程度	11	月1～2回程度	11	月1～2回程度	15
それ以下	14	それ以下	0	それ以下	0	それ以下	1	それ以下	2	それ以下	6
全部		一部		全部		全部		全部		全部	
		図書室									
5		5		1		1		5		5	
2		1		3		1		1		1	
集会室・学習室		集会室・遊戯室		集会室		集会室・遊戯室		集会室		集会室	
ない		たまにある		たまにある		ない		たまにある		たまにある	
		館内行事・職員会議など		館内行事・休校日				館内行事・休校日		館内行事	
大幅に増加しなければ大きな支障はない。		夜間の貸出し増の対応は可能。その他は難しい。		大幅に増加しなければ大きな支障はない。		部屋によって希望が多くなり調整が必要になる。		団体利用者の増加により一般利用者の利用できる部屋が制限される可能性がある。		大幅に増加しなければ大きな支障はない。	
地元町内会を通じ回覧		地元町内会を通じ回覧		地元町内会を通じ回覧		町内会掲示板への掲示		地元町内会を通じ回覧		行事毎に自治会への回覧・掲示板への掲示を依頼	
実施していない						実施している					
老人いこいの家利用者に、書道を教えてもらっている。						マジックショー					

②文化芸術のまちづくり

川崎市では初めて「川崎・しんゆり芸術祭 2009」（平成 21 年 4 月 24 日～5 月 10 日）が新百合ヶ丘駅周辺で開催されることになり、区民会議では「区民主体の文化芸術のまちづくり」という課題との関係で区民会議としてどのように関わっていくか意見交換を行いました。その結果、区民の交流を意識した「市民参加の芸術祭」としての雰囲気づくりをするための側面支援していくことになりました。具体的には以下の取り組みを行いました。

小学生の絵画展示

平成 21 年度

「わたしたちの町～わがまち自慢～」をテーマとした小学生の描いた絵画を飾り、街の賑わいや歓迎ムードを演出、芸術祭の雰囲気づくりをしました。

●実施期間

平成 21 年 4 月 20 日(月)～平成 21 年 5 月 7 日(木)

●実施場所

新百合ヶ丘駅北口フェンス

●参加者

区内小学校 17 校 252 名

●区民会議での意見

小学生の絵画展は、足を止めてご覧になる方も多く見受けられ、実施して良かったとの意見が多く出されました。その一方で、次のような課題もあげられました。

○実施目的などを記載した看板が小さくわかりにくかった。

○もう少し展示物が多い方がよかった。

○幼稚園児など他の世代も含めて検討した方がよいのではないか。



平成 22 年度

平成 21 年度に引き続きゴールデンウィークに開催された「川崎・しんゆり芸術祭 2010」を盛り上げる目的で、小中学生による絵画展を開催しました。

●展示期間

平成 22 年 4 月 28 日(水)～5 月 6 日(木)

●実施場所

新百合ヶ丘駅北口フェンス

今回は区内こども文化センターに依頼し、「わがまち〇〇（こ文名）」というテーマで作成しました。

提言

○区民会議が関係団体と協力して行った絵画展は、芸術祭の雰囲気づくりや開催ムードを盛り上げるという点では成果があった。

○川崎・しんゆり芸術祭は継続して開催していく予定であり、今後も芸術祭を盛り上げる企画は必要である。

美化清掃活動

平成 21 年度

区民や地域の団体等と連携し、新百合ヶ丘駅周辺の美化清掃活動を行ないクリーンアップすることで、「芸術のまち」にふさわしい清潔感のある雰囲気づくりと街のイメージアップを図りました。

- 実施日

平成 21 年 4 月 22 日(水)

- 実施場所

新百合ヶ丘駅北口・南口ペDESTリアンデッキなど

- 参加団体

区民会議、川崎市美化運動実施麻生部会、昭和音楽大学、日本映画学校、ジェイコムせたまち局、芸術祭実行委員会、しんゆり・芸術のまちづくりフォーラム

- 区民会議での意見

美化活動について区民会議としては、区役所周辺において月2回定期的（第1木曜日・第3火曜日）に実施されている美化ボランティア活動に、委員が今後も可能な範囲で参加協力していくことになりました。



平成 22 年度

「川崎・しんゆり芸術祭 2010」に区内外から多くの来場者があることから、区民会議が関係機関に働きかけ、昨年に引き続き新百合ヶ丘駅周辺の清掃活動を実施することになりました。

- 実施日

4 月 20 日（火）午前 9：30～

- 実施場所

新百合ヶ丘駅北口、南口ペDESTリアンデッキなど

提 言

- 新百合ヶ丘駅周辺では、美化ボランティア団体による清掃活動が月2回定期的に開催されており、今後の広がりを期待したい。
- 第2期の区民会議の委員も可能な限り清掃活動に参加したが、第3期の区民会議でも可能な限り参加してほしい。

③異世代間交流

エコバッグづくりを通じた異世代間交流

平成 20 年度

区民会議と「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラム、専修大学商学部前川ゼミナールの学生、保育園児との協働により、区内7保育園にてオリジナルエコバッグの作成に取り組みました。学生によって紙芝居や寸劇などでエコについてお話があり、「しんゆり・芸術のまち」のロゴ入りエコバッグに園児が自由に絵を描いて、楽しい雰囲気の中で行われました。

- ・ 11月11日 上麻生保育園（園児20名、学生6名、区民会議2名）
- ・ 11月14日 下麻生保育園（園児18名、学生7名、区民会議3名）
- ・ 11月18日 虹ヶ丘保育園（園児27名、学生8名、区民会議4名）
- ・ 11月19日 高石保育園（園児19名、学生6名、区民会議2名）
- ・ 11月21日 白山保育園（園児27名、学生6名、区民会議2名）
- ・ 11月25日 百合丘保育園（園児14名、学生6名、区民会議4名）
- ・ 11月26日 白鳥保育園（園児18名、学生5名、区民会議3名）



平成 21 年度

平成 21 年度は、2 箇所のこども文化センターと老人いこいの家の合築施設で、区民会議と専修大学、こども文化センター、老人いこいの家が協働し、小学生と高齢者との交流を目的にエコかるたとエコバッグづくりを実施しました。

- ・ 11月8日 麻生こども文化センター・麻生老人いこいの家（園児24名、高齢者3名、学生17名、区民会議5名）
- ・ 11月18日 岡上こども文化センター・岡上老人いこいの家（園児17名、高齢者12名、学生20名、区民会議4名）



提 言

○専修大学の学生が企画した「エコバッグづくりを通じて世代間交流」は、子どもたち、高齢者、学生と世代を超えた盛り上がりを見せ、世代を超えた交流づくりにつながった。

○区民会議がコーディネートした取り組みは、少しずつ地域の中への広がりをみせており、今後の地域への展開を期待したい。

地域への展開①

平成 21 年 4 月 18 日

市民交流館やまゆり

「ビバ！ かがやく子どもたち」開催

NPO 法人あさお市民活動

サポートセンターと

専修大学(前川ゼミナール)との連携

地域への展開②

平成 22 年 1 月 16 日

万福寺町内会館

「万福寺子ども会新年会」開催

万福寺こども会と

専修大学(前川ゼミナール)との連携

④地域のつながり「あいさつ」がはじまり

コミュニティづくりの事例集の作成

- ・「あいさつが交し合える地域づくり」を目的に、町会・自治会などが地域の中でコミュニティ活動に取り組んでいる事例について、調査しました。
- ・平成20年11月に、区内102町会・自治会にアンケート調査を実施しました。
- ・その中から、特徴的な取り組みを行っている町会・自治会などにヒアリング調査を実施しました。
- ・これらを併せて、調査結果を分析し、地域におけるコミュニティづくりに活用できる事例集として取りまとめ、町会・自治会などに配布していきます。

作成経過

平成20年11月	町会・自治会のアンケート調査（102団体）
平成20年12月	市民活動団体のヒアリング調査（15団体）
平成21年3月	ヒアリング調査対象の町会・自治会（23団体）の選定、実施
平成21年5月	ヒアリング調査分析
平成21年11月	原稿確認、校正
平成22年3月	原稿完成、印刷

事例集の構成

- はじめに
- 「あいさつが交し合える地域づくり」について
- 「あいさつが交し合える地域づくり」の取組事例
- 「あいさつが交し合える地域づくり」の促進に向けて
- 資料編

提言

- 今回作成した事例集を活用し、地域の中で自然とあいさつができるような関係づくり、コミュニティ活動につなげてほしい。



全体テーマ 心が響きあう地域づくり

文化芸術・地域活性化

課題 ■区民主体による文化芸術のまちづくり ■麻生区民にとっての「しんゆり芸術のまちづくり」の意義

課題内容	課題解決策の検討	関連事業・関連活動・現状等
1 幅広い区民、団体が参加する文化芸術のまちづくりの推進	(ア) 文化芸術を生かした経済活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> ●「しんゆり・芸術のまち」推進事業により事業展開(麻生区) ●「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラムとホール管理者連絡会との連携(麻生区) ●麻生音楽祭 ●あさおランチタイムコンサート ●しんゆり映画祭野外上映会 ●えいぶるコンサートinあさお ●麻生区中学校合同音楽祭 など協働推進事業
	(イ) 文化芸術活動や文化資源の情報一体化	
	(ウ) 子ども、青少年、障害者、高齢者等の文化活動への支援	
	(エ) 文化資源を生かした人材育成(講座や講演等への活用)	
	(オ) エコの推進と文化活動との連携	
2 区民主体の芸術フェスティバル等の検討	(カ) 文化芸術を生かした都市間交流や国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ●「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラムと専修大学との連携により事業展開予定 ○京畿道フェア(5月) ○トルコ舞踏団公演(6月)
	(キ) 芸術フェスティバル等の実施	●芸術フェスティバル(平成21年4月29日～5月6日のGWを中心に開催)
3 芸術を基調としたまちづくりの検討	(ク) 麻生区民限定の芸術ポイントカードの導入	●しんゆり映画祭「映画祭フェア クーポン」
4 区民が参加しやすい「芸術のまちづくり」の検討	(ケ) お母さん方が芸術文化に親しむためのアート保育所の創設	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校と昭和音楽大学との交流コンサート ●マタニティコンサート(麻生区) ●ジュニア映画制作ワークショップ
	(コ) 公教育における芸術文化授業の実施	

市民活動推進

課題 ■チョイボラ隊の結成(やまゆり／NPO法人あさお市民活動サポートセンター)

課題内容	課題解決策の検討	関連事業・関連活動・現状等
1 地域活動、市民活動を担うメンバーの高齢化による問題	(ア) 協力してほしい「団体・グループ」と協力したい「区民」をつなぐ仕組みの検討	<ul style="list-style-type: none"> ●市民活動地域ネット「あさお大好きネット」(麻生区) ○ボランティア・市民活動相談(かわさき市民活動センター)
2 若い世代、現役世代の参加しやすい仕組みづくりの検討	(イ) 中高大学のサービ斯拉ーニングとの連携、活用	●市民活動相談(麻生区)
	(ウ) 麻生まちづくり市民の会・あさお市民活動サポートセンターを中心としたサポート体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア登録(各区社会福祉協議会) ●麻生地域づくりの活動資金助成事業(麻生区)

地域交流・子育て

課題 ■コミュニティーづくり ■異世代間の交流 ■子育て

課題内容	課題解決策の検討	関連事業・関連活動・現状等
1 都市型コミュニティー(隣組)の促進	(ア) 都市型コミュニティー(隣組)の促進の具体的検討	●あいさつが交し合える地域づくり事業を実施(麻生区) 平成20年度に地域のコミュニティ活動を実態調査し、平成21年度に事例集(手引き書)を作成
2 核家族から生じる問題	(イ) 地域での実践の検証と取組の事例紹介	●あいさつが交し合える地域づくり事業を実施(麻生区)
3 異世代間交流の促進	(ウ) 実践している団体などとともに、交流の場の拡大	●あいさつが交し合える地域づくり事業を実施(麻生区)
		●シニアの地域デビューに向けたセミナー開催(麻生区)
4 0才～6才児についての検討	(エ) 遊び場の拡充、交流の場の設置	<ul style="list-style-type: none"> ●遊び場調査／白地図(麻生区) ●麻生区子育て人材バンク(麻生区) 【麻生プレイパークを創る会】 ○自然の遊び場実験(化粧面谷公園、早野聖地公園など) 【木こりの会】 ○緑と施設の調和のとれた公園づくり(籠ノ池公園) ○公園広場の草刈りなど(化粧面谷公園) ○広場とその周辺斜面の草刈り、樹木の間伐剪定(まつのき緑地)

【課題選定基準】(第1回区民会議にて承認)

1. 緊急性
2. 必要性
3. 公平性
4. 実現性
5. 協働による取組の可能性
6. 区民の主体性

【担い手の例】

1. 区民
2. 行政
3. 区民と行政
4. その他
町会自治会・商店連合会など

1.課題解決のための具体的なアイデア

【市民参加の芸術祭について】

芸術祭実行委員会が、芸術祭の企画運営を行っており、市民が企画運営に参加するのは困難である。市民参加の形態としては、広報・PRの支援や環境づくり・雰囲気づくり等の側面支援となる。

- 区民会議のネットワークを活用し、広報・PR等の支援をする。
- 花などにより、新百合ヶ丘駅周辺を装飾する。
- 小中学生の描いた絵により、新百合ヶ丘駅周辺を装飾する。
- 新百合ヶ丘駅周辺(デッキ上の池など)の清掃作業を行う。

- 市民利用施設の情報を実効的に提供するしくみをつくる。

- 各市民活動支援拠点施設間の連携・ネットワークのあり方を検討する。

「あいさつが交し合える地域づくり事業」の実施

あいさつが交わし合える地域づくり事業により、地域の特徴的なコミュニティ活動について、区内102町会・自治会を対象としたアンケートを実施。

「エコバッグ作成を通じた世代間交流」の実施

保育園、こども文化センター、老人いこいの家などで交流イベントの実施。

2.取組課題の絞込み

「市民参加の芸術祭」を優先的な課題とし、「市民活動の推進」や「異世代間の交流・子育て」は「市民参加の芸術祭」の取り組み状況を見ながら順次検討する。

「芸術祭」を「文化芸術のまちづくり」の絶好の機会として捉え、市民参加を図りながら連携支援をする。芸術祭への連携支援のあり方としては、区民会議のネットワークを活用し、地域と連携しながら広報・雰囲気づくり等側面的支援をする。

- 小学生の描いた絵画の展示
新百合ヶ丘駅周辺に「わたしたちの町～わがまち自慢～」をテーマとした小学生の描いた絵画を飾り、街の賑わいや歓迎ムードを演出し芸術祭の雰囲気づくりをする。
(実施期間)平成21年4月20日(月)～平成21年5月7日(木)
(実施場所)新百合ヶ丘駅北口のフェンス
- 新百合ヶ丘駅周辺の美化清掃活動
区民や地域の団体等と連携し新百合ヶ丘駅周辺の美化清掃活動を行いクリーンアップすることで、「芸術のまち」にふさわしい清潔感のある雰囲気づくりと街のイメージアップを図る。
(実施時期)平成21年4月21日(火)
(実施場所)
・新百合ヶ丘駅南口ペDESTリアンデッキ上の水系施設周辺
・新百合ヶ丘駅南口中央オブジェ周辺
・新百合ヶ丘駅北口絵画展示場所周辺

- 【取組事例】**
- 「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラムと連携し、エコバッグを通じた学生と幼児との交流事業を実施
 - 新百合ヶ丘駅ペDESTリアンデッキ上オブジェ囲いの改修

こども文化センター(地域の拠点)の調査の実施

「川崎市市民活動指針」に基づき、「地域の拠点」として位置づけられているこども文化センターの調査を実施する。その結果を検証し、今後の取り組み内容について検討していく。

「あいさつが交し合える地域づくり事業」の実施

あいさつが交わし合える地域づくり事業により、地域の特徴的なコミュニティ活動について、区内102町会・自治会を対象としたヒアリングを実施し、事例集を作成する。

「エコバッグ作成を通じた世代間交流」の実施

3.取組の担い手

●市民参加の芸術祭

区内公立小学校・区民会議・川崎美化運動実施麻生支部・昭和音楽大学・日本映画学校・J-COMせたまち・しんゆり芸術のまちづくりフォーラムなど

●こども文化センターの調査の実施

区民会議

●あいさつが交しあえる事業

町内会・自治会・区民会議 など

●エコバッグ作成を通じた世代間交流

区民会議、専修大学・公立保育園・こども文化センター・老人いこいの家

4.取組の成果

●市民参加の芸術祭

絵画展 4月24日～5月8日
絵画252枚掲示
清掃活動 4月22日実施
のべ38名参加

●こども文化センターの調査の実施

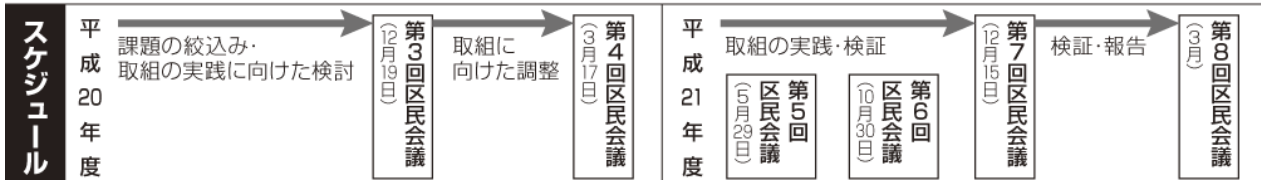
実施日 8月26日～9月8日
出席委員 延べ19名参加

●あいさつが交しあえる事業

アンケート調査
H20年10月～11月
ヒヤリング調査
H21年3月～5月
編集・校正作業

●エコバッグ作成を通じた世代間交流

H20年度 公立保育園
H21年度 麻生こども文化センター 岡上老人いこいの家



3

環境部会の取り組み

＜エコのまち麻生の推進～持続可能な地域社会の創造を目指して～＞

環境部会は環境面からどのような麻生区をめざすのか、そのまちづくりについて議論し、第1期からの継続テーマ「地元農産物と地域交流」を含めたかたちで「エコのまち麻生の推進～持続可能な地域社会の創造を目指して～」を掲げました。その実現へのアプローチの仕方にはいろいろありますが、区民会議としては「区民に身近な問題で」「2年間の任期内に一定の結論が出る課題」にし、具体的に以下の3つに取り組みました。

- ①「生ごみリサイクルと地産地消」
(⇒「ごみ減量」+「麻生区の地域特性である農を活かしたまちづくり」を視点に)
- ②「環境教育資料づくり」
(⇒次代を担う小学生に向け、麻生区の自然環境状況とその保全に取り組むアイデア、事例などを盛り込んだエコカルテを作成し、視野を広げてもらう)
- ③他団体への協力
(⇒「環境家計簿による省エネの取り組み」協力)

①生ごみリサイクルと地産地消

生ごみリサイクルと地産地消の現状把握

検討経過

- 生ごみリサイクルの参考事例の調査
 - ①あさお生きごみ隊の取り組み
 - ②環境局のモデル事業「生ごみリサイクル推進モデル事業」
小学校の給食から出る生ごみを回収し、東京農大のプラントで生ごみ肥料「みどりくん」を製造。(麻生、南百合丘、王禅寺中央、虹ヶ丘、三田小学校)
- 調査検討内容
 - ①生ごみ提供者、回収問題、堆肥づくり、協力してくれる農家・町会探し
 - ②生ごみでつくった堆肥や肥料を使って野菜を栽培してくれる農家探し
生ごみに含まれる塩分などの問題
 - ③できた野菜を学校給食や区役所のレストランで採用してもらえないか
 - ④住宅地での堆肥づくりで臭いや虫の問題、ごみ処理や肥料取締法による法律での制約
 - ⑤この循環のモデル事業から面に発展できるか、一時的でなく安定的で継続できるものになりえるか
 - ⑥都市での生ごみのあり方、将来展望
- 見学と農家訪問
 - ①東京農大での生ごみリサイクルプラントの見学とヒアリング

- ②東京農大の近くで実践されている農家の見学とヒアリング
- ③世田谷区のじゅんかんチャレンジ桜丘の取り組みのヒアリング
- ④新宿の京王百貨店レストラン街での取り組みのヒアリング

区民会議でのモデル事業

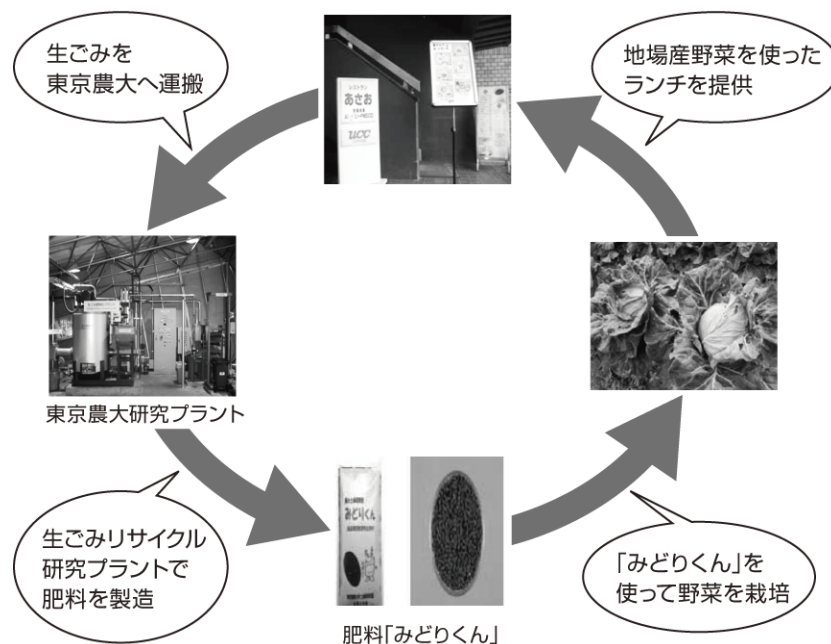
- ◇平成 21 年 3 月より具体的な取り組みを開始しました。
- ◇レストランあさお、東京農大、農家、食生活改善推進員、環境局の協力で実施しました。
- ◇レストランあさおで発生した生ごみを多摩生活環境事業所の車で収集して東京農大へ運搬、東京農大のリサイクル研究プラントで肥料「みどりくん」を製造、肥料「みどりくん」は区内農家の協力を得て野菜作りに活用、できた野菜を使ったメニューを毎月の食育の日（原則19日）に、「レストランあさお」でスペシャルランチとして提供。
- ◇モデル事業の実施にあたっては、レストランあさおの協力による試作メニューでの試食会を実施しました。
- ◇毎月 1 回、原則 19 日の食育の日に「あさおスペシャルランチ」として提供しました。
- ◇食生活改善推進員の協力で当日のメニューのレシピ作成・配布をしました。

【参考(昨年のメニュー)】

- 6月19日 キャベツとじゃこの和風サラダ
- 7月17日 ナスとベーコンのトマト煮
- 8月19日 しゃぶしゃぶ風冷製ゴーヤー
- 9月18日 麻生風秋茄子のカレーライス
- 10月19日 ロールキャベツ
- 11月19日 ミート入りポテトコロッケ
- 1月19日 白菜と豚ばら肉のクリームシチュー
- 2月19日 鳥ムネ肉の和風煮・万福寺人参のポタージュ



●生ごみリサイクル概略図



生ごみ堆肥・肥料でつくった花や野菜の写真展作品募集

生ごみがよい肥料や堆肥になり資源循環できることを広くアピールしたいと考えました。

◇生ごみから堆肥を作り、それで食物を育てて写真を撮り、手づくり堆肥作成過程を含めて審査するコンクールを考えました。しかしながら、堆肥作りから始めては参加者募集から写真展開催までに1年かかってしまい、3期になってしまうことから、今期はすでにある生ごみ堆肥や肥料を使っただけの成果物の写真展としました。

◇なお、写真展を独自に行うのではなく、次項で述べる地産地消フォーラムの中で1つの企画として行うこととしました。

●募集

平成21年7月～11月28日

区民会議ニュース、チラシなどで広報し、19件の応募があった。

生ごみリサイクルと地産地消フォーラムの開催

区民会議が取り組む生ごみリサイクルと地産地消の推進について、広く区民の方々のご理解をいただくために、次のようなフォーラムを開催しました。

- 日 時 平成21年11月29日(日) 午後1時～4時
- 場 所 麻生区役所4階 第一会議室
- 参加者 132名
- 内 容 詳細については、P33のフォーラムのところをご参照ください。



区役所ロビーでの生ごみリサイクル相談会の開催

各家庭から生ごみリサイクルと地産地消を進めることが、第一歩と考え、環境局主催の「区役所ロビーでの生ごみリサイクル相談会」に協力しました。

- 日 時 平成22年3月9日(火) 午前10時～午後4時
- 場 所 麻生区役所ロビー
- 参加者 60名
- 内 容 ・生ごみ堆肥化のための用具(コンポスト化容器、密閉バケツ、地中埋め込み式容器ダンボールコンポスト)展示。
・訪れた区民の各家庭の状況に合わせて、川崎市生ごみリサイクルリーダーが生ごみに関する様々な個別相談に応じるもので、川崎市で初めての試みでした。



生ごみ肥料化プラントの見学

生ごみリサイクルに取り組む市内企業(富士通(株)川崎工場・日本電気(株)玉川環境管理推進センター)と農家を見学しました。

- 日 時 平成22年3月12日(金) 午後1時～2時
- 見学場所

富士通(株)川崎工場

社員食堂から出る生ごみを工場内の生ごみ処理機で有機肥料「のびのびグリーン」を製造、製造した肥料は区内の農家に提供、できた野菜を社員食堂で使用している。

農家／中原区宮内

有機肥料「のびのびグリーン」を使って「小松菜」栽培しています。

日本電気（株）玉川環境管理推進センター

社員食堂から出る生ごみを工場内の生ごみ処理機で有機肥料「くすのき有機」を製造、製造した肥料は宮前クリーン農業研究会等に提供しています。

まとめ

1) 都市における生ごみリサイクルについて

- ・生ごみのリサイクルの方法については肥料化、堆肥化、家畜の飼料化、バイオマスエネルギー化などが考えられますが、置かれた状況により最適な方法を選択すべきと考えます。
- ・現時点では東京農大型プラントによる肥料化が適していると考えました。

長所…生ごみ投入から2時間程度で肥料として取り出せる。乾燥した粒状なので農作業も含めて扱い易く、長期保管も可能、住宅地に近いところでの臭いや虫の問題がない、有機農業と土作り。販売による費用回収も見込める

課題…①乾燥させるための熱エネルギーが必要。②肥料としての品質「家庭での分別の徹底（ラップなどの異物混入など）」③プラントの設置場所の検討（ごみ焼却排熱を活用でき、またごみ回収車ルートでの運搬を考えるとごみ焼却場が最適であり、王禅寺ごみ処理センターの設置が考えられる）④農家や農業団体での生ごみ肥料採用（他地域の農家への販売や将来的には輸出の可能性も視野に）。

2) 生ごみリサイクルと地産地消で都市農業振興、緑地保全のまちづくりへ

- ・毎日出る生ごみが肥料になり、その有機肥料でつくられた新鮮で安全安心の地場産野菜が家庭で購入され、結果として都市農業の振興・緑地保全につながると共に食料自給率の向上など資源循環の持続可能な地域社会の創造へ進むことが期待される。この関係性を区民に提起し、理解を深め、進めていくことが必要です。

提言

○上記「まとめ」の具体化にむけて検討をすすめるためのプロジェクトチームを立ち上げてほしい。

1) プロジェクトチームの構成は、区民、農家・農業団体（農協など）大学（東京農大、明治大など）、行政（環境局、経済労働局、麻生区役所）などの参加したものが望ましい。

2) 検討内容については、上記「まとめ」を含めた全般的なものとなるが、特に

①「生ごみ肥料化プラント」の設置場所として条件的に最適と思われる「王禅寺ごみ処理センター」の敷地への設置が望ましいのではないかと

②プラントによる生ごみ肥料化に際しては農家・農業団体が安心して採用できる堆肥・肥料づくりが必要なので段階的に進めていった方がよいのではないかと

など検討してほしい。

○レストランあさおでのモデル事業は、区民の「生ごみリサイクルと地産地消」を意識してもらうためにも継続してほしい。

○市内ではじめて麻生区役所で開催した「生ごみリサイクル相談会」は、区民の意識高揚を図る意味でも継続できるよう協力してほしい。

②環境教育資料づくり

麻生区エコカルテの作成

- ・身近な地域からの地球温暖化対策を進めるため、麻生区内におけるエコ関連の取り組み事例等を調査し、主に小学生向けの教材として「麻生区エコカルテ」を作成しました。
- ・区内の取り組みなどを中心に、次のような内容で構成します。
- ・なお作成に当たっては、区内公立小学校の校長先生方などから意見を伺いながら進め、次世代を担う小学生、中学生の環境教育データ集として、小中学校等に配りました。

取組経過

- | | |
|-------|------------------------------|
| 4月23日 | 栗木台小学校校長(理科学研究会会長)との打合せ |
| 4月28日 | 長沢小学校校長(総合学習・生活科学研究会会長)との打合せ |
| 5月11日 | 総合教育センター指導主事(総合学習担当)との打合せ |
| 5月19日 | 東柿生小学校校長(麻生区小学校校長会会長)との打合せ |
| 5月26日 | 麻生区小学校校長会にて説明 |
| 6月11日 | 環境部会(小学校の環境学習等での活用を検討) |
| 7月30日 | 環境部会(エコカルテの中で紹介したい事例の検討) |
| 9月3日 | 環境部会(エコカルテの中で紹介したい事例を決定) |
| 10月1日 | 環境部会(エコカルテの作成過程の確認及び校正)計6回 |
| ~3月5日 | |

〈麻生区エコカルテの構成〉

- 麻生区における温暖化の状況
- 麻生区における自然環境資源
- 麻生区内のエコの取組状況
- 地域別に見たエコの取組状況
- エコの事例紹介
- エコにチャレンジ



提言

- 区内小中学校等に配布した後、環境学習等を行う場合の基礎データとして有効活用してほしい。
- 今後の展開として、区民の身近なエコの活動につなげてほしい。

③他団体への協力

環境家計簿の取り組み

区民会議では、地球温暖化を考えるきっかけとして、「環境家計簿」の取り組みを予定していました。しかし、「麻生まちづくり市民の会」でも同様の取り組みが予定されており、環境家計簿モニタリングコンテストの実施と、講演会の具体的日程なども決定しておりました。これらを踏まえ、区民会議としては「麻生まちづくり市民の会」で実施するモニタリングコンテストに参加するなどして協力していくことになりました。

取組内容

- ・エコな生活の第一歩として、麻生まちづくり市民の会が行う環境家計簿コンテストへの協力。
- ・平成21年11月から平成22年1月までの3ヶ月間、今年と昨年の電気、ガス、水道の料金と使用量を記録して区役所地域振興課に提出しました。

報告会の開催

- 日 時 平成22年2月28日(日) 14:00~16:30
- 場 所 麻生区役所4階会議室
- 報告数 70世帯(登録数95世帯)

環境家計簿コンテスト写真



2010里山フォーラム in 麻生に参加

「緑と農の文化を生かすまち」をテーマに開催したフォーラムに区民会議も参加しました。

- 日時 平成22年3月13日(土)
- 場所 市民館大会議室ほか

全体テーマ 心が響きあう地域づくり

課題 ■エコのまち麻生の推進 ～持続可能な地域社会の創造を目指して～(身近な地域から地球温暖対策、緑化活動を実践)

課題内容	課題解決策の検討	関連事業・関連活動・現状等
1 関連団体との連携、地域住民との交流	活動拠点として、環境館設立などを検討	●麻生区における市民活動の拠点施設として、平成19年4月に市民交流館やまゆりがオープン ●リサイクルパークあさお整備事業(環境局) ●環境総合研究所の整備に向けた検討(環境局)
2 減量指導員・環境リーダーの効果的な活動	市民共同発電所設置等の促進、自然エネルギーを利用しやすい環境整備	●(太陽光)麻生区役所・柿生小・はるひ野小設置を、(風力)はるひ野小 ●住宅用の太陽光発電施設設備補助事業(1kWあたり3万円、上限12万円)(環境局) ●環境リーダー育成講座、廃棄物減量指導員(環境局)
	レジ袋の有料化の促進(レジ袋を使わなくてすむライフスタイルの提案実践など)	●小田急OX栗平店、コープかながわでレジ袋有料化を実施(小田急商事は緑化基金に寄付)(環境局) ●マルイ溝口でレジ袋削減に伴う環境保全活動(高津区と多摩川エコミュージアムに寄付)(高津区)
3 農業、都市緑地の保全と復元、ごみの削減とリサイクル、雨水利用など	公共施設への太陽光発電設置と雨水利用などの検討	●身近な公共施設での再生可能エネルギー(太陽光発電設備、ソーラー街路灯)の導入に向けた調査を実施予定(環境局)
4 「CCかわさき」と連動したまちづくり	「エコのまち麻生」エコ憲章の検討	●地球温暖化防止条例の制定に向けた検討(環境局) ●地球温暖化対策地域推進計画の策定に向けた検討(環境局)
	「エコのまち麻生」を目指すネットワークの検討	●「エコのまち麻生」をめざすまちづくりフォーラム開催(麻生区)
5 小中学校での環境体験学習などの促進		●自然エネルギー活用促進事業実行委員会が区内小学校への出前授業を展開(麻生区) ●4大学連携事業 地球温暖化防止をテーマに子ども向けミュージカルを実施(麻生区)
6 家庭での緑化推進、CO2削減	家庭での緑化推進、CO2削減を具体的に検討	●ゴーヤのカーテン大作戦(各区) ●エコドライブの推進(環境局) ●ハイブリッド公用車の導入(麻生区) ●打ち水大作戦(環境局・川崎区・中原区・多摩区)／エコウェーブ(環境局)／マイバック(環境局・川崎区・幸区・宮前区) ●しんゆり芸術のまちで専修大学生が区内保育園でエコバックづくり(麻生区) ●コンポスト助成制度(環境局)
7 緑地保全、緑化推進	東京都が実施している校庭の芝生化や公園の芝生化	●校庭の芝生化／宮前区土橋小(教育委員会)
8 公園の手入れ	公園を対象とした愛護会づくりの啓発	●麻生区内で81の公園緑地愛護会が維持管理活動を展開(環境局) ●木こりの会 籠口ノ池公園(緑と施設の調和のとれた公園づくり)／化粧面谷公園(公園広場の草刈りなど)／まつのき緑地(広場とその周辺斜面の草刈り、樹木の間伐剪定) ●里山ボランティア(早野)
9 緑地保全の検討	里地里山の保全(子どもの遊び場づくり)	●麻生里地・里山保全推進事業(麻生区) ●麻生プレイパークを創る会 自然の遊び場実験(化粧面谷公園、早野聖地公園等) ●遊び場調査／白地図(麻生区) ●麻生区市民健康の森(麻生多摩美の森の会) ●木こりの会 籠口ノ池公園(緑と施設の調和のとれた公園づくり)／化粧面谷公園(公園広場の草刈りなど)／まつのき緑地(広場とその周辺斜面の草刈り、樹木の間伐剪定) ●里山ボランティア(早野) ●屋上・壁面緑化への助成及び緑の活動団体への支援(環境局) ●麻生地域づくりの活動資金助成事業(麻生区)
10 食育を通じての地域交流(第1期) ●区内各小学校にアンケート実施●体験農業の関係者、JA関係者●王禅寺小学校をモデル校に選定	●学校農園を通じた地域づくりを王禅寺小学校でモデル実施 4/14王禅寺小学校を訪問 4/17学校農園の土地所有者宅を訪問 4/17農業協力者宅を訪問 4/22王禅寺小学校と打合せ 5/29さつまいも、かぼちゃの作付け 10/28さつまいもの収穫を予定	○学校農園を通じた地域づくりを王禅寺小学校でモデル実施中 10月28日収穫、秋に収穫祭を予定 ●区内全小学校で農業体験学習を実施●学校農園(王禅寺、金程、真福寺、虹ヶ丘、白山、柿生、長沢、柿生、栗木台)●校外農園(王禅寺、岡上、金程、千代ヶ丘、片平)●地産地消の推進のために、区内産野菜を区役所の食堂でランチメニューとして活用(高津区)
11 農産物直売所を通じての地域交流(第1期) ●体験農業の関係者、JA関係者ヒアリング	8/7梶委員と打合せ(セレスモスと地域住民との交流事業について) 8/21梶委員からセレスモスと地域住民との交流事業について情報提供あり	○セレスモス「情報センター」内にて地域住民との交流事業を展開(消費者向けワークショップ開催) ●料理講習会 夏野菜(7月7日・8日)・冬野菜(12月上旬予定)●多摩川梨フェア(8月上旬から9月上旬)●柿フェア(11月上旬～中旬予定)●シクラメン・パンジーフェア(12月上旬予定)
12 市民農園及び援農を通じての交流(第1期) ●体験農業の関係者、JA関係者ヒアリング	8/7梶委員と打合せ(農業従事者等への意向調査実施について) 8/29梶委員から意向調査の予定ない旨の連絡あり	●JAでは、今秋より農業指導の派遣依頼があった場合、JAの指導者や農業従事者を派遣する事業を実施予定

【課題選定基準】
 1. 緊急性
 2. 必要性
 3. 公平性
 4. 実現性
 5. 協働による取組の可能性
 6. 区民の主体性

【担い手の例】
 1. 区民
 2. 行政
 3. 区民と行政
 4. その他
 町会自治会・商店連合会など

1.課題解決のための具体的なアイデア
●身近な地域から地球温暖化対策を実践する。
 (視点)
 ●川崎市地球温暖化対策地域推進画、カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略(COかわさき)等と連動し、家庭におけるCO2削減を推進する。
 ●エコ意識を高めるため、エコの普及啓発活動を展開する。

レジ袋削減に向けたエコバックの普及啓発
 環境家計簿を作成

●身近な地域から緑化活動等を実践する。
 (視点)
 ●川崎市環境基本計画、緑の基本計画等を踏まえ、身近な地域から実践的な緑化活動を行う。
 ●麻生区の地域特性である農を活かしたまちづくりを進める。
 ●里地・里山を活かしたまちづくりを進める。

生ゴミの堆肥化などの推進
 地産地消の推進

2.取組課題の絞込み
●生ごみのリサイクルと地産地消の取組

1 レストランあさお
 レストランあさおの生ごみを収集して東京農大に搬出
 2 東京農大
 東京農大のリサイクル研究プラントにて生ごみから肥料「みどりくん」をつくる
 3 農家
 肥料「みどりくん」を使って野菜を生産、レストランあさおにて生産された野菜を使ったメニューを提供

●生ごみリサイクルと地産地消フォーラム開催

日時 平成21年11月29日
 場所 麻生区役所第1会議室
 内容 講演、事例発表、パネルディスカッション

●麻生区エコカルテの作成

1 麻生区内の環境に関するデータ
 気温、緑、河川、自然エネルギー、ごみ減量、食と農など
 2 区内のエコ関係の取組紹介
 自然エネルギー、省エネ、廃棄物減量とリサイクル、緑と農

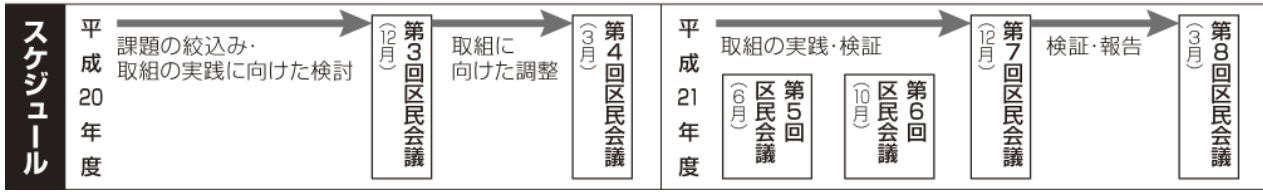
3.取組の担い手
●生ごみのリサイクルと地産地消の取組
 レストランあさお
 東京農大
 農家
 環境局
 区役所

●生ごみリサイクルと地産地消フォーラム
 区民会議
 JA
 区役所

●麻生区エコカルテ
 区民会議
 小学校校長会
 総合教育センター
 区役所

●環境家計簿の作成
 麻生まちづくり市民の会で取り組む環境家計簿コンテストに協力

4.取組の成果
●レストランあさおの生ごみを東京農大へ搬出(21.3開始)
●東京農大で製造したみどりくんを農家へ(21.3)
●農家で栽培した野菜をつかってレストランあさおでランチ提供(21.6開始)
●生ごみリサイクルと地産地消フォーラム(21.11.29)
●麻生区エコカルテ作成(22.3)
●環境家計簿麻生まちづくり市民の会が取り組む環境家計簿コンテストに参加(21.9~)



第2期麻生区区民会議「心が響きあう地域づくり」に向けた提言

地域交流部会	
課題	提言
<p>●市民活動推進</p> <p>地域の市民活動支援の場としての活用</p>	<p>○地域拠点施設としてのこども文化センターの認知度が低い ため、積極的な広報が必要である。</p> <p>○「区役所」のホームページ、市政だより区版を使った広報が 必要である。</p> <p>○利用促進のためのチラシ等を作成する必要がある。</p> <p>○区内全てのこども文化センターが連携した取組みや「地域の拠 点」施設の利用促進を図るために、まずは情報交換の場を設け られるよう働きかけていく必要がある。また、それらを通じ、 市民利用促進に向けた具体的取組みに結びつくことを期待す る。</p> <p>○将来的に、こども文化センター以外の市民活動支援の場を増や していくべきである。第1期で行った「老人いこいの家」の利 用についての提言なども踏まえ、引続き区民が利用しやすい施 設運用への提案など行っていく必要がある。また、より市民が 使いやすい施設とするため、将来的には条例改正も含めた検討 を期待する。</p>
<p>●文化芸術のまちづくり</p> <p>川崎・しんゆり芸術祭の 雰囲気づくりなど側面支 援</p>	<p>○区民会議が関係団体と協力して行った絵画展は、芸術祭の雰 囲気づくりや開催ムードを盛り上げるという点では成果があっ た。</p> <p>○川崎・しんゆり芸術祭は継続して開催していく予定であり、今 後も芸術祭を盛り上げる企画は必要である。</p> <p>○新百合ヶ丘駅周辺では、美化ボランティア団体による清掃活動 が月2回定期的に開催されており、今後の広がり期待したい。</p> <p>○第2期の区民会議の委員も可能な限り清掃活動に参加したが、 第3期の区民会議でも可能な限り参加してほしい。</p>
<p>●異世代間の交流</p> <p>世代を超えた交流の必要 性</p>	<p>○専修大学の学生が企画した「エコバッグづくりを通じて世代間 交流」は、子どもたち、高齢者、学生と世代を超えた盛り上が りをみせ、世代を超えた交流づくりにつながった。</p> <p>○区民会議がコーディネートした取り組みは、少しずつ地域の中 への広がりをみせており、今後の地域への展開を期待したい。</p>
<p>●地域コミュニティ</p> <p>日頃からあいさつが交し 合えるような関係づくり</p>	<p>○今回作成した「事例集」を活用し、地域の中で自然とあいさつ ができるような関係づくり、コミュニティ活動につなげてほし い。</p>

環境部会	
課題	提言
<p>●エコのまち麻生の推進 持続可能な地域社会の創造を目指して</p>	<p>①都市における生ごみリサイクル</p> <p>○リサイクルの方法については肥料化、堆肥化、家畜の飼料化、バイオマスエネルギー化などが考えられますが、置かれた状況により最適な方法を選択すべきと考えます。</p> <p>○現時点では東京農大型プラントによる肥料化が適していると考えました（詳細はP23参照）。</p> <p>②生ごみリサイクルと地産地消で都市農業振興、緑地保全のまちづくり</p> <p>○毎日出る生ごみが肥料になり、その有機肥料で作られた新鮮で安全安心の地場産野菜が家庭で購入され、結果として都市農業の振興・緑地保全につながると共に食料自給率の向上など資源循環の持続可能な地域社会の創造へ進むことが期待される。この関係性を区民に提起し、理解を深め、進めていくことが必要です。</p> <p>○上記の具体化に向けて「生ごみ肥料化プラント」の設置場所（条件的に最適と思われる王禅寺ごみ処理センター敷地内案も含めて）や、段階的進め方などを検討するためのプロジェクトチームを区民、農家、農業団体（農協など）、大学（東京農大、明治大など）、行政（環境局、経済労働局、麻生区役所）などが参加した形で立ち上げてほしい。</p> <p>○レストランあさおでのモデル事業は、区民に「生ごみリサイクルと地産地消」を意識してもらうためにも継続してほしい。</p>
<p>●環境教育 麻生区エコカルテの活用</p>	<p>○区内小中学校等に配布し、環境学習等を行う場合の基礎データとして有効活用してほしい。</p> <p>○今後の展開として、区民の身近なエコの活動につなげてほしい。</p>
<p>●他団体への協力</p>	<p>○市内ではじめて麻生区役所で開催した「生ごみリサイクル相談会」は、区民の意識高揚を図る意味でも継続実施できるよう協力してほしい。</p> <p>○今後も、同じテーマに取り組む各団体と連携・協力して進めていくことが必要であり、関連団体同士のコーディネートを区民会議が担うのも重要課題と思われる。</p>

4 区民会議フォーラムについて

1 区民会議出前フォーラム

区民の方々に区民会議をもっと知ってもらおう、区民の方々と意見交換をしようということで、出前フォーラムを開催しました。区役所から外に飛び出し、区内3箇所で開催しました。

●開催概要

- 第1回 平成21年2月21日(土) 13:00~15:30
北部リハビリテーションセンター会議室 参加者24名
第2回 平成21年2月28日(土) 13:00~15:30
麻生区役所柿生連絡所会議室 参加者9名
第3回 平成21年3月1日(日) 13:00~15:30
はるひ野黒川地域交流センターホール 参加者10名



(各回共通プログラム)

- ①ミニコンサート(昭和音楽大学の学生によるミニコンサート)
- ②区民会議報告
- ③会場との意見交換

●区民会議出前フォーラム参加者アンケート集計結果

本日の会合を知ったのは? (いくつでも○)

知人	市政だより区版	区民会議ニュース	チラシ	新聞	その他
16	18	3	5	0	2

(その他:町会回覧物、マイタウン21)

麻生区区民会議の取組“心が響きあう地域づくり”についてご理解頂けましたか?

理解した	まあ理解した	理解できなかった
10	12	2

あなたの地域では、“心が響きあう地域づくり”を進めていると思いますか?

既に進めている	これから進めようとしている	進めていない
9	2	11

どんな取組（地域活動）に関心がありますか？（いくつでも○）

防犯	防災	環境	美化	文化芸術	高齢者支援	子育て支援	その他
11	11	21	7	4	13	12	0

差し支えなければ、あなたご自身についてお教えてください。

① あなたのお住まいは

麻生区内	麻生区外
28	1

② 年齢

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
0	0	2	4	2	9	11	1

③ 性別

男	女
17	12

あなたの地域では、“心が響きあう地域づくり”を進めていると思いますか？

その取組で上手くいっていることや困っていることについてご記入ください。

- ・自治会活動と連携するも住民自治活動であることの長所短所あり。
- ・地域に住んでいる人たちには様々な人がいる。一緒に同じ方向に進むことに抵抗がある人もいるので早急に同じ方向へ強く進めることに時代の影響もあり苦慮している。緩やかな働きかけがいいのではと思っている。
- ・集合住宅で自治会の組織化も困難。
- ・92戸のマンションの中ではある程度やっているが他の町会との連携ができていない。
- ・防犯パトロール会員が100名いる。はるひ野、黒川地区の犯罪件数は少なくなっている。
- ・ビン・缶の回収に大きい網袋を使っている。ごみ用の20ℓや30ℓの袋を使わずにすんでいる。

「区民会議」や本日の運営などについてご意見があればご記入ください。

- ・地域へ出張する意欲を評価する。地域の住民組織や町会自治会への呼びかけはあったのか。
- ・大変結構な催しで日常生活のすごし方について反省させられました。但し、今は地元の自治会運営に苦慮しながら力を注いでいますので余裕がない。

-
- ・広報不足ではないでしょうか。いい機会にしては参加者が少ないように思う。提言の実現が問題であり、実現できたもののPRを大いにやってほしい。これが区民会議を理解する最良の方法だと思う。
 - ・とてもよくできているように思う。まちづくり市民の会との違いと連携は？力が分散されてもったいないように思う。
 - ・区民会議は行政へ正式に要求でき、それをフォローできる会議であるようなので、この建前はしっかりやってもらいたい。本音として色々応用動作を取ることは結構なことと思う。
 - ・環境部会の取組について賛成です。特に生ごみリサイクルは地産地消も実現できる取組なので進めてほしい。麻生区にふさわしい取組だと思う。レストランあさおで地元産野菜を使ったメニューのものが供されるのはすばらしい。農家の写真も載せてほしい。
 - ・区民会議を知らない人が多数いることがわかり、周知に積極的に取り組んでいることにほっとした。
 - ・区民会議について勉強不足でした。
 - ・大変勉強になりました。また参加したい。
 - ・区民会議の設置目的、意義と活動状況をどうやったら区民により深く広く認識してもらおうか。これが必要な点と考える。
 - ・区民会議の広報に町内会自治会の掲示板や回覧をうまく利用したらいいと思う。区民会議への提案箱はあるのか。
 - ・参加者が少なくさびしかった。
 - ・若い人たちや新しい住民でも会議に参加しやすい広報をお願いしたい。
 - ・活動の様子がよくわかり、また意見もたくさん出てよかったと思う。

その他

- ・配布資料の文字が小さく黒味が強くて非常に読みにくい。今までこの会に参加している人はよくわかるだろうが、初めて参加したものにも明確に理解できるような配慮があったらと思う。
- ・区民会議、期待しています。

2

生ごみリサイクルと地産地消フォーラム

●開催概要

日時 平成21年11月29日(日)午後1時～午後4時

場所 麻生区役所4階 第1・2会議室

実施内容

基調講演 東京農業大学 後藤教授

事例発表①じゅんかんチャレンジ桜丘推進協議会

②あさお生きごみ隊

③環境を考え行動する会

④区民会議環境部会

パネルディスカッション

- ・コーディネーター 西谷委員長
- ・パネラー 東京農業大学 後藤教授
明治大学 玉置教授
JA セレサ川崎 梶部長
環境局廃棄物政策担当 佐藤主幹

生ごみ堆肥・肥料でつくった花、野菜の写真展

参加者132名

会場の様子



【会場風景】



【写真展】



【展示ブース】



【野菜直売所】

先着 100 名様に季節の野菜または生ごみ肥料「みどりくん」を贈呈します！

生ごみリサイクルと地産地消フォーラム

—麻生区での循環型社会、エコのまちづくりをめざして—

区民会議では「生ごみのリサイクルと地産地消」の取組みを進めています。家庭の生ごみを燃やさないで肥料化し、農家で野菜栽培に使用。その野菜を区民が食すというごみ減量と安全な食品の地産地消の資源循環をめざしています。

区民の皆さんのご意見を！

都市部におけるごみ減量リサイクル及び地産地消のあり方や将来について考えるフォーラムを開催します。是非 御参加ください。



(C)タウンニュース

柿生野菜生産者直売会による「直売コーナー」も設置します！

日時 11月29日(日) 13:00~16:00
会場 麻生区役所 4階 第1会議室

フォーラムの内容(プログラム)

- ① **講演** テーマ「生ごみリサイクルで環境にやさしい地産地消」 東京農業大学 後藤逸男教授
- ② **取組み事例発表**
 - ・「じゅんかんチャレンジ 桜丘」の取組み じゅんかんチャレンジ 桜丘推進協議会 (世田谷区)
 - ・市民、農家、行政の連携による「生ごみ堆肥化」 あさお生きごみ隊 (麻生区)
 - ・手軽にできる「ダンボールポストで生ごみリサイクル」 環境を考え行動する会 (麻生区)
 - ・「レストランあさお」のモデル事業 麻生区区民会議 環境部会 (麻生区)
- ③ **パネルディスカッション**

コーディネーター	麻生区区民会議	西谷明子委員長
パネラー	東京農業大学応用生物科学部	後藤逸男教授
	明治大学農学部	玉置雅彦教授
	J A セレサ川崎営農経済本部	梶 稔部長
	川崎市環境局廃棄物政策担当	佐藤好子主幹
- ④ **展示コーナー**
 - ・展示ブースで各団体の取組みを展示、説明
 - ・写真展 (生ごみ堆肥・肥料で育てた花や野菜の写真)



主催 麻生区区民会議 (事務局 麻生区役所企画課 TEL044-965-5112)

●生ごみリサイクルと地産地消フォーラム参加者アンケート結果

65 名の方からアンケートの回答をいただきました。表中の割合は回答者数 65 名に対する割合を示しています。

1. 本日のフォーラムをどちらでお知りになりましたか。(複数回答)

項目	回答(人)	割合(%)
市政だより	21	32.3%
チラシ	25	38.5%
ホームページ	2	3.1%
知人	19	29.2%
その他	9	13.8%
無回答	1	1.5%

2. 基調講演の感想についてお聞かせください。

項目	回答(人)	割合(%)
大変参考になった	38	58.5%
参考になった	24	36.9%
少し参考になった	2	3.1%
どちらでもない	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	1	1.5%

【「その他」の主なご意見】

- ・ダンボールコンポストをしておりますが、間違い、又は新しい知識を得て良かったと思います。今後に活かしたいと思います。

3. 事例発表の感想についてお聞かせください。

項目	回答(人)	割合(%)
大変参考になった	20	30.8%
参考になった	32	49.2%
少し参考になった	8	12.3%
どちらでもない	3	4.6%
その他	0	0.0%
無回答	2	3.1%

【「その他」の主なご意見】

- ・ダンボールコンポストの会に一度参加してみたいと思いました。
- ・各々のグループが生ゴミの減量を通じて、環境への配慮をしていることが身近に感じた。

4. パネルディスカッションの感想についてお聞かせください。

項目	回答(人)	割合(%)
大変参考になった	17	26.2%
参考になった	24	36.9%
少し参考になった	6	9.2%
どちらでもない	2	3.1%
その他	2	3.1%
無回答	14	21.5%

【「その他」の主なご意見】

- ・生きごみ隊会員として、明治大学の地域貢献へ期待できそうで喜ばしい。JA にも積極的に取り組んでほしい。

5. 展示コーナー（ブース・写真展）の感想についてお聞かせください。

項目	回答(人)	割合 (%)
大変参考になった	10	15.4%
参考になった	29	44.6%
少し参考になった	7	10.8%
どちらでもない	3	4.6%
その他	2	3.1%
無回答	14	21.5%

【「その他」の主なご意見】

- ・段ボールコンポストの材料が、この場で分けてもらえないことが残念だった。

6. 区役所広場に設けた農産物直売コーナーについて感想をお聞かせください。

【主なご意見】

- ・新鮮野菜が低価格販売で良かった。
- ・区役所に来る機会も多いので、直売コーナーは多くやって欲しいです。
- ・生産者の顔が見えるものがより良かった。
- ・地域の野菜が近くですぐに手に入るという点では、とても良いと思いました。
- ・地産物のPRとして大変良いと思う。もう少し規模が大きいといい。

7. どんな取組（活動）に関心がありますか。（複数回答）

項目	回答(人)	割合 (%)
環境	57	87.7%
美化	17	26.2%
文化芸術	15	23.1%
防犯	10	15.4%
防災	16	24.6%
高齢者支援	23	35.4%
子育て支援	10	15.4%
その他	5	7.7%
無回答	3	4.6%

8. 麻生区区民会議についてご意見があればご記入ください。

【主なご意見】

- ・テーマがはっきりしていて、分かりやすいフォーラムでした。
- ・無関心な区民も少しずつでも巻き込む努力を。
- ・活動内容を広く市民に宣伝するべきだと思います。
- ・生きごみ隊や段ボールコンポスト等の市民のエコ活動を区全体に拡大してはどうか。
- ・今まで知らなかったが、これからも活発に、市民のために大いに活動して下さい。
- ・体験農園をして、7年目になるものですが、今日の話は非常に発展性のあるワクワク、ドキドキするものでした。何らかの形で関わりたいと思いました。

3

区民会議フォーラム

●開催概要

- ・第2期区民会議の取り組み状況を区民の方々への報告と意見交換をするためのフォーラムを開催しました。
- ・特別ゲストとして、NHKの人気番組の一つである「難問解決！ご近所の底力」のチーフプロデューサー堂垣彰久氏をお招きし、番組制作の裏話、番組で取り上げた成功事例の紹介など、地域の課題解決に向けたヒントをお話しいただきました。

●日時

平成22年2月7日（日）午後1時～4時

●場所

麻生区役所 4階 第1・2会議室

●参加者

130名

●内容

第1部 アトラクション

昭和音楽大学の学生によるミニコンサート

第2部 区民会議報告

企画部会の報告（神本部長）10分

環境部会の報告（伊藤部長）10分

地域交流部会の報告（根占部長）10分

会場との質疑応答 20分

第3部 基調講演

NHK「難問解決！ご近所の底力」

チーフプロデューサー

堂垣彰久（どうがき あきひさ）氏

「地域の課題を地域で解決」～番組の仕掛人が語る～



堂垣氏のプロフィール

平成元年NHK入局。番組制作ディレクター・デスク・プロデューサーとして、青森、東京、仙台、松江で勤務。「クローズアップ現代」「NHKスペシャル」などを担当。平成20年より、「難問解決！ご近所の底力」のチーフ・プロデューサーとなり、現在に至る。総務省「地域力創造に関する有識者会議」委員。

第4部 麻生区の底力

都市型コミュニティに取り組む区内の町会・自治会が展示ブースを設置、先進的な取組事例を紹介。

栗木町内会、山口台自治会、片平町内会、岡上町内会、万福寺町内会、新万福寺町内会、搭之越自治会、下麻生自治会、虹ヶ丘団地2丁目自治会

●区民会議フォーラム参加者アンケート結果

61名の方からアンケートの回答をいただきました。表中の「割合」は回答者数61名に対する割合を示しています。

1. あなたご自身のことについて

①お住まいはどちらですか

項目	回答(人)	割合(%)
麻生区内	53	86.9%
麻生区外	6	9.8%
無回答	2	3.3%

②性別、③年齢

性別	回答者数 (%)	年代								
		20歳 未満	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 代	80歳 以上	無回 答
全体	61(100)	0	0	1	4	9	20	23	2	2
	100	0.0	0.0	1.6	6.6	14.8	32.8	37.7	3.3	3.3
男性	38(62.3)	0	0	1	2	3	11	18	2	1
	100	0.0	0.0	2.6	5.3	7.9	28.9	47.4	5.3	2.6
女性	19(31.1)	0	0	0	2	6	7	4	0	0
	100	0.0	0.0	0.0	10.5	31.6	36.8	21.1	0.0	0.0
無回答	4(6.6)	0	0	0	0	0	2	1	0	1
	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0

2. 本日のフォーラムをどちらでお知りになりましたか。(複数回答)

項目	回答(人)	割合(%)
知人から	17	27.9%
市政だより区版	24	39.3%
区民会議ニュース	15	24.6%
新聞	1	1.6%
チラシ	20	32.8%
ホームページ	4	6.6%
その他	15	24.6%

3. 区民会議の取り組みについてご理解頂けましたか？

項目	回答(人)	割合(%)
理解した	15	24.6%
まあ理解した	33	54.1%
理解できなかった	7	11.5%
その他	4	6.6%
無回答	2	3.3%

【主なご意見】

- ・もう少し町会、自治会テーマ解決に努力してもらいたい。
- ・初めて参加して発表を聞いたが、この会議の目的、活動成果が未だ見えない感じがする。
- ・地域とのつながりが無い。

4. 基調講演の感想についてお聞かせください。

項目	回答(人)	割合(%)
大変参考になった	26	42.6%
参考になった	23	37.7%
少し参考になった	7	11.5%
どちらでもない	1	1.6%
その他	0	0.0%
無回答	4	6.6%

5. 展示コーナーの感想についてお聞かせください。

項目	回答(人)	割合(%)
大変参考になった	8	13.1%
参考になった	28	45.9%
少し参考になった	14	23.0%
どちらでもない	2	3.3%
その他	3	4.9%
無回答	6	9.8%

【主なご意見】

- ・一部しか展示されていないので参考にならなかった。もっと区全体を網羅してほしい。
- ・とても楽しそうなコメントが書かれていて、私も生ゴミ堆肥を頑張ろうと思った。
- ・もっと実際に即し、きれいごとに終わらせないで下さい。

6. どんな取組（活動）に関心がありますか。（複数回答）

項目	回答(人)	割合(%)
環境	42	68.9%
美化	19	31.1%
文化芸術	15	24.6%
防犯	25	41.0%
防災	28	45.9%
高齢者支援	22	36.1%
子育て支援	13	21.3%
その他	5	8.2%
無回答	1	1.6%

7. 麻生区区民会議についてご意見があればご記入ください。

【今後の区民会議のあり方について】

- ・「個人の生活にどうつながっているのかがわからない」という意見があり、区民会議のあり方に対する疑問が心に残った。既存の組織（町内会、子供会、まちづくりクラブ等）とは別に区民会議を立ち上げた意味を今一度明確にする必要がある。
- ・区民会議は全てのことを網羅しているとはとても思えない。目的とか信条はどう説明されるでしょうか。
- ・第2期になり活動が地についてきたと思う。地域交流部会では、なかなか取組みが難しいことの種が播かれた。まちづくりの今後を担う人達（麻生区を故郷とする人達）を巻き込んでゆくことが「まちづくり」の根本になる。区民会議の実績になり、区民会議の認識が高まることを期待する。
- ・第3期への引継ぎが肝心。その際、第1期報告書を改めて検証して、その結果も第3期に反映してほしい。
- ・第1の目的は人のつながり、絆をつくる、広げることだと思う。その方法は何でもよい。活動内容が第1目的ではないが、継続するためにも、楽しくて役に立つことが必要かと思う。とにかく多くの人を引っ張り出したい。
- ・区民会議も2年目。形だけでいつも結果が出ないのは困る。

【区民会議の検討テーマについて】

- ・区の課題（いくつかの地域の課題から選んで検証した結果）は、その期のテーマとなっていくのか。選ばれたテーマを課題と思っていた方は満足するが、違うテーマだった方は不満です。テーマの選定を丁寧に行い、情報の公開が丁寧に行われることが必要ではないか。今後も大きな課題を先に見ながら、それを地域におろして課題と捉えて、まず動いてみてほしい。
- ・麻生区を取り巻く公共交通と地域内交通のあり方について、特に地下鉄導入と高齢化や環境問題などから自家用車よりコミュニティバスなどの導入などを取り上げてはどうか。

【区民会議と自治会等とのつながり】

- ・区民、町会、自治会とのつながりがよく分らない。
- ・区民会議と区民の連携の難しさは、どの区でも同じと思った。基調講演の中に「人集め」のヒントがあったように思う。
- ・麻生まちづくり市民の会と区民会議とのコラボレーションの必要性を感じる。
- ・区、議会、自治会等と区民会議を体系化し具体的事業を示す事が必要ではないか。
- ・今後もモデル事業への取り組みを続けるのであれば、町連との具体的な協力体制（特に環境関係）がつけられると活動が大きく広げられるように感じる。町連から各自治会、町内会に参加を呼びかけたらどうか。
- ・区民と区民会議が距離を縮めることができるとよいと思う。

【区民会議と個人の生活とのつながり】

- ・現実、私達ができるよう（ゴミのリサイクル）なものにして頂きたい。我が家で肥料が作れるととっても良いです。
- ・自分の生活とどう関わっているのか、まだよくわからない。

【区民会議の活動やイベントのPR】

- ・「区民会議」のホームページから今日のイベントがあることを見る事ができませんでした。「区民会議」を広報していく姿勢が足りないのではないか。
- ・区民会議で話し合われたこと、区民からの提言等により取組み始めたこと、実現したことなどをフォーラムの時にパネル等で発表したらどうか。子育ても大切だが区役所の吹き抜け広場に高齢者に関する活動をパネル展示してほしい。よい活動がたくさんあるのに区民に届きにくいので是非やってほしい。
- ・提言だけではなくモデル事業を行うと、目に見える活動PRになり、市民の理解を得やすくなる点が良いと思う。

【基調講演】

- ・前半の会議の報告、初めて聞きましたので今後の参考になった。後半のNHKの話は具体的で大変参考になった。特に継続性、まとめの話が具体的で、今後の自分の方針になった。（まだ自治会活動はしていない）9つの事例の紹介、大変おもしろかった。
- ・基調講演が非常に参考になった。あまり専門的でなく、難しく考えない発想が必要だという事がポイントだと納得した。

【市議との対話の場づくり】

- ・6月議会で成立した議会基本条例の中に議員は市民と市政について意見交換と交流に努めなくてはならない主旨の条文がある。ぜひ区民会議が主催する区選出議員と区民の対話の場をつくってほしい。

【町内会、自治会の展示について】

- ・町内会、自治会のブースに加入率がありましたが、実態と全く違うと思う。行政として登録世帯分の加入状況を正しく報告してほしい。

5 第3期麻生区区民会議に向けて

～第2期区民会議委員の意見・感想等～

2年間の取り組みを通じて、第2期区民会議委員から主に次のような意見が出されました。

1 第2期区民会議について

(1) 会議の運営について

①本会議の運営、専門部会の設置・運営について

■評価する意見

●運営全般について

- ・本会議・専門部会とも会議時間・回数ともに適当と思う。
- ・運営は問題なかった。特に委員長の議事進行はとても上手で大変良かった。
- ・議長、副議長、各部会のそれに行政の方々が大変ご苦労されたことと思われ、感謝の気持ちでいっぱいである。
- ・設置・運営ともによかった。2期目の委員長と企画課各位のご尽力に感謝。
- ・事務局の対応が適切で良かった。
- ・課題の整理・調整、まとめを適切に行った区役所企画課の方々の力は大きく、会議がスムーズに進行することにつながった。
- ・専門部会の設置により、本会議がスムーズだったり、また、本会議では聞けないようなご意見をきけたりして、よいバランスだった。
- ・内容が多岐にわたるため専門部会の設置は的確であった。運営についても特に問題なくよかった。

●企画部会について

- ・企画部会を置いての調整は必要である。

●専門部会について

- ・テーマごとに分けるのはいいアイデアだと思った。
- ・委員の人数から考えて妥当な部会の設置だった。
- ・部会制にすることで、より発言しやすく、活動しやすかった。
- ・専門部会の設置については、地域が抱える課題を反映したものになっていた。また、運営も、各委員の皆さんが良く発言され、積極的に行われていた。
- ・課題を絞って議論を煮詰めていくためには専門部会の設置は妥当と思われる。

■改善等についての意見

●運営全般について

- ・関心のあるテーマごとに委員がグループに分かれ、市民や参与や有識者を加えて調査プロジェクトを立ち上げ、自由に深く調査審議していく運営も必要である。
- ・委員が多忙すぎる。

●本会議について

- ・本会議は2年間で数えるほどの回数なので、出席率を高める工夫が必要である。

- ・本会議では部会での内容を踏襲する形となり、各々の委員の発言が少なくなった。また、所属以外の部会の報告・提案については、疑問質問も含めもっと意見交換ができればよかった。
- ・団体推薦、区長推薦、公募で問題意識が多様で、テーマへの関心度合いが違っているため、本会議での意見が少なかった。
- ・本会議のみ参加する参与（議員）に力を出してもらった場がなかった。

●企画部会について

- ・企画部会は必須の部会で、担うべき役割も明確なため、今後はもう少し委員が主体的に参画していく努力が求められる。
- ・企画部会は他の専門部会と性格が異なっているので、ひとくくりにするのはどうか。

●専門部会について

- ・それぞれの部会の課題や進行状況が見えない部分がある。
- ・部会の課題を絞りすぎたのではないか。
- ・専門部会では、委員達はその問題の専門家ではなく、温度差がかなりある為、入口の議論ばかりで、深く掘り下げ発展的な課題解決にまでは至らなかった。
- ・住民が望むことと、私たちにできることの差が大きい。老人や子どもといったテーマで第1期・2期と調べたが、調査だけに終わっているのが残念である。

②本会議・専門部会の会議時間・回数について

■評価する意見

●全般について

- ・第1期に比べて時間は厳守されていた。回数も妥当だった。
- ・内容からみて会議時間・回数ともに必要最低限であったと思う。
- ・予算もあり回数は適切。
- ・委員の出席状況から考え、実施された会議時間・回数でよかったと思う。
- ・各委員が多忙という状況の中では、会議時間、回数はこの程度にならざるを得ない。
- ・私としては無理のない範囲だった。

●本会議について

- ・本会議後の懇親会は、本会議のみではコミュニケーションがなかなかとれない中、意味があったと思う。

●専門部会について

- ・専門部会は必要に応じて開催するなど柔軟な対応ができるので特に問題はない。
- ・専門部会はよく話しあいができ、充実した内容だった。

●出前フォーラムについて

- ・出前フォーラムは、区民会議を区民に周知されるため意義があったのではないか。

■改善等についての意見

●全般について

- ・時間、回数とも予想していたより多かったので調整しきれなかった。
- ・会議についてももう少し頻度があってもよいのではないか。
- ・本会議は部会の報告が主になり、話し合いや意見交換ができなかった。そのため部会で進める内容に重点がおかれ区民会議全体としての意識が薄くなりがちだった。傍聴者も話し合い等を聞き取ったのではないか。

●本会議について

- ・本会議の回数が少なく、委員が考慮して発言を控えてしまっているケースが多い。本会議の回数を増やしてほしい。
- ・本会議で委員の発言が少なく、決まった委員の発言により運営されている。一人一人が考えて欲しい。
- ・本会議を2～3回増やしてもよいと思う。
- ・小さい子どもがいる主婦には午後からの本会議に出席することが難しかった。できれば午前中がありがたい。
- ・本会議の時間は午後に行い3時間は必要。

●専門部会について

- ・今のやり方なら適切回数であるが、深く掘り下げる場合は専門部会内の会議がもっと多く必要となる。
- ・専門部会において適当な時期に懇親会を開いて本音の議論をすることが必要。

(2) 課題の選定・取組について

①委員・区民からの課題の集約について

■評価する意見

- ・委員からの課題集約はよく行われていたと思う。
- ・企画部会で多くの課題をフィルターにかけて選定し、それを各部会で検討する形式は、部会の運営がスムーズに進行してよかったのではないか。
- ・区民から課題を応募するのも一つの方策だが、選ばれた委員からの課題の集約とそれへの取り組みで十分だと思う。
- ・3部会とも課題がリアルタイムだった。
- ・多くの課題がある中、ポイントが絞り込まれ、具体化につながったと思う。
- ・課題の内容が多岐にわたっていたが、取組課題を絞り込み成果に結びついたと思う。
- ・1期・2期と参加し、1期基礎固め、2期実践という形になり、2期ではそれなりの成果をだすことができたと思っている。
- ・区民からは集約する機会が少なかった。ただ、委員自身が区民の代表と考えれば、これで良いのかもしれない。

■改善等についての意見

- ・団体推薦・区長推薦委員からの課題提起がもう少し積極的に出されると取組課題がより説得力を持ったものになると思う。
- ・団体推薦でありながら、その団体が活動する分野の課題を提示しきれなかったように思う。

- ・課題の絞込みが重要。大きな課題だと区民に浸透できたのか疑問。
- ・区民会議は長期的なビジョン（都市計画マスタープラン）の実現に向かって議論・実践していくものと位置づけている。そうでないと各期それぞれ課題が異なり、目標のない取り組みに終わってしまうのではないかと機軸を覚える。
- ・子どもの調査で見えてきたのは、保育施設の不足、親の就労時間延長に伴う子どもの一人時間の長さ、心の問題であったが、区民会議で何ができるか思いつかず、大変難しいと感じた。
- ・区民からの意見はあまり集約できなかった。
- ・提案箱・ホームページなど開かれてはいるが、知名度が低いためか区民からの意見・要望など提案が少ない。区民の意見・提案を中立の立場で調査審議していくことも重要なので、多くの声を集める必要がある。

②モデル事業の実施について

■評価する意見

- ・大いに評価されている。
- ・期待以上に成果があったと思う。
- ・具体的に実施できた。
- ・区民に広めることができている。
- ・地域へ出て活動し、市民の方々の参加もいただけてよかった。今後にもつなげることができると思う。
- ・エコの取り組みで行・学・民によるモデル事業が実施できたことは特筆に値するのではないかな。
- ・大学・学生・会社・団体等の参加は地域の活性化につながると思う。
- ・区民に区民会議を認知してもらうためには、一ヶ所でも多くのモデル地区を選び、事業を実施すると関心度が高まるので、今後もぜひ継続して欲しい。
- ・地域交流部会、環境部会とも良く事業を実施したと思う。
- ・解決策の具体的な一案としてとても有効だった。実際に区内全域から市内へ適用していくには別の課題が生じることもあると思うが、現状に一石を投じることになった。
- ・環境部会のモデル事業は、都市における生ごみリサイクルと都市農業の振興、緑地保全のまちづくりに生かしていける一つの事例になると思う。

■改善等についての意見

- ・モデル事業が発展的に定着するケースがない。折角、市民発意のモデル事業なのだから、まずは、自律的、発展的なシナリオを描いてほしい。
- ・モデル事業実施後の検証がなされていないように思う。モデル事業をモデルで終わらせず、提言にまで持っていくような審議が必要。
- ・今後もモデル事業を実施するにあたり、「しんゆり芸術のまちづくり」フォーラムとの連携は、行うべき。
- ・地産地消は旬の話題であり、よかったと思うが自給率アップに繋がられる仕掛けがほしかった。

2

第3期区民会議への期待について

■コーディネートの役割、横につなぐ、点から線・面へ

- ・区民会議の役割は、すでに活動しているが、個別的な活動になりがちな地域団体、市民活動団体を必要に応じて、コーディネートすることである。そのことによってネットワークへの動きが生まれ、相互支援・協力・連携といった望ましい状況が説得力をもって実現する。
- ・コーディネートを行うことは、先進のグループがすでに行っている活動をなぞるという受け止め方が出てくるが、きちんと受け止め、説明できるようにする必要がある。
- ・区民会議が事業を行うことで、本来縦割りである区の予算と業務を連携することができた。今後も、区民会議が、区役所の枠組みを取り払い、発展的に事業を展開し、意見交換が行われることに期待する。
- ・区民会議で取り上げ、課題をクローズアップすることで区民の点の活動を線の活動から面の活動へとつなぎ、多くの人が共有するという流れができつつある。

■取り組みの継続・発展

- ・1期、2期で形になりつつあるものは、3期でも継続して成果につなげてほしい。
- ・2つの専門部会ともテーマがしぼれてきた。地域交流部会では老人と子どもというテーマで何ができるかと考えると、居場所づくりではないか。
- ・アルテリッカしんゆりへの側面支援事業は毎年何らかの形で継続すべきだと思う。
- ・調査結果等を生かし、さらに成果があがることを期待します。
- ・1期、2期の精神（理念）、テーマ等を踏襲しながら、区民の求める新たな課題にチャレンジして行ってほしい。

■新たなテーマ、多彩なアイデアを期待

- ・“新しい公共”が新委員の多彩なアイデアから生まれることを期待する。
- ・麻生区民全体が参加できる課題を設定したらと思う。文化協会で考えている課題を次期には提起したい。
- ・生ごみ堆肥作りの過程と成果物のコンクールを実施してほしい。
- ・会議でのペットボトルの配布を中止してほしい。
- ・1期2期の内容をふまえ、また新たな課題を検討して進めてほしい。

■あるべき姿に基づいた議論を

- ・10年後、20年後の麻生区のあるべき姿・ビジョンに基づいて、それにむかって今何に取り組むべきか大いに議論されるよう期待している。

■取り組みを重視する、機能的な区民会議へ

- ・ 議論ばかりでなく、現場に入っていく等の試みも必要でないか。
- ・ 一般区民の意見・要望等をどのように把握するか。
- ・ 区民が日常抱えている課題や提案など、より多くの声をひろうことにも力を入れ、さらに実際的かつ具体的な取組ができ、機能的な区民会議になることを期待する。
- ・ 早くに取り組み課題を決めないと任期をまたいでしまうため、取組期間の長い提案はやれなくなってしまふ。⇒任期3年がよいかも？

■出前フォーラムの継続

- ・ 出前フォーラムは、地域住民に対して関心度を高め、理解していただけただけのではないかと思われるので、継続実施してほしい。

■区民会議への理解を進める、情報発信

- ・「行政の作文通りの・・・」という常套的、表層的な批判は良く出るものである。この批判に具体的にきちんと答えるため、ハンドブック『区民会議Q&A』を作成し、区民の理解を進める一助とするとよい。
- ・インターネットを活用した広報など、スピーディな会議報告と内容の充実が課題。
- ・ホームページの活用などまだ課題はあると思う。若い世代に向けてもできるだけアピールできるような工夫が必要と思う。

■勉強会等の実施

- ・専門部会でテーマが決まった場合、それに詳しい大学等の専門家を招いて勉強会（講演会）などを開催し、認識を深めた上で議論・実践することも必要ではないか。

■委員同士の交流

- ・委員の交流をはかる企画がよかった。委員同士のつながりがより密になったと思う。

■公募委員の増加

- ・公募委員の取組は非常に積極的であったと思う。もっと公募委員を増やした方がいいのではないか。

■市議会議員の役割・位置づけ

- ・市議会議員が来られていたが、区民会議での議論はどのように議会に反映されるのか。反映してほしいと思うが、反映されないのならば、あまり意味がないように思う。

■区の事務局に感謝

- ・区民会議をささえてこられた区役所企画課の皆さんの活躍も見逃せない。今後とも地域のために頑張ってください。
- ・事務局の皆様たいへんお世話になりました。特に、区民会議ニュースの作成ではご面倒をおかけしました。

■事務局等との役割分担

- ・事務局機能の整理・簡素化及び簡潔な資料づくりなど工夫や効率化が必要。
- ・区役所（事務局）とコンサルタント会社と区民会議委員との仕事分担や関係の整理が必要。

6 資料

1

麻生区区民会議委員・参与名簿

平成 20 年 7 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日

【区民会議委員】

	氏名	分野	推薦団体等	専門部会
1	アマノ エツコ 天野 悦子	公募	公募	企画部会・環境部会
2	イツカ カオル 飯塚 馨	市民自治	麻生区町会連合会	地域交流部会
3	イチカフ ミキオ 市川 幹雄	防災、防犯	麻生区安全・安心まちづくり協議会	環境部会
4	イトウ キヨミ *伊藤 清美	公募	公募	企画部会・環境部会
5	ウスイ カツジ 碓井 勝次	市民活動団体	区長推薦	環境部会
6	オナカ マリコ 尾中 真理子	公募	公募	地域交流部会
7	カジ ミノル 梶 稔	地域特性(農業)	区長推薦	環境部会
8	カミモト カズエ ○*神本 一枝	公募	公募	企画部会・環境部会
9	カモシダ トシヒコ 鴨志田 敏彦	産業振興	麻生区商店街連合会	地域交流部会
10	コボウ エツコ 小坊 悦子	公募	公募	地域交流部会
11	シモヤカフ キミヒロ 下八川 公祐	地域特性(4大学連携)	区長推薦	地域交流部会
12	スガワラ ケイコ 菅原 敬子	文化、観光	麻生区文化協会	地域交流部会
13	タニカワ 谷川 みゆき	公募	公募	企画部会・地域交流部会
14	テラカワ ミツヒロ 寺川 光洋	地域特性(文化芸術)	区長推薦	地域交流部会
15	ニシタニ アキコ ◎西谷 明子	学識経験者	区長推薦	企画部会・地域交流部会
16	ネジメ カツヒコ *根占 勝彦	市民活動団体	区長推薦	企画部会・地域交流部会
17	モリタ ケイコ 守田 啓子	公募	公募	企画部会・地域交流部会
18	ヤノ ミチヨ 矢野 美千代	福祉、健康	麻生区社会福祉協議会	地域交流部会
19	ヤマザキ マサル 山崎 優	教育、子育て	麻生区子ども会連合会	環境部会
20	ワタナベ トオル ○渡邊 利	緑、環境	川崎市美化運動実施麻生支部	企画部会・環境部会

◎=委員長 ○=副委員長 * =部会長

【区民会議参与】

	氏名		会派
1	アマガサ ユウジ 雨笠 裕治	市議会議員	民主党
2	イトウ ヒサシ 伊藤 久史	〃	民主党
3	オサク ヒトシ 尾 作 均	〃	自民党
4	カツマタ ミツエ 勝又 光江	〃	共産党
5	ハナワ コウイチ 花輪 孝一	〃	公明党
6	ヤマグチ カズコ 山口 和子	〃	神奈川ネット
7	ヤマザキ ナオフミ 山崎 直史	〃	自民党
8	アイハラ タカヒロ 相原 高広	県議会議員	無所属
9	ヨシダ タイセイ 吉田 大成	〃	民主党・かながわクラブ

2

第2期麻生区区民会議の活動の経過

1 区民会議		
第1回	平成20年7月30日(水)	委員長及び副委員長の選出について 区民会議の運営について 企画部会委員の選出について 第2期区民会議での調査審議課題について
第2回	平成20年9月19日(金)	広報・広聴活動について 調査審議課題について 専門部会の設置について 川崎市の地球温暖化に向けた取組について
第3回	平成20年12月19日(金)	調査審議課題について (仮称)区民フォーラムの開催について
第4回	平成21年3月17日(火)	区民会議出前フォーラムについて 調査審議課題について
第5回	平成21年5月29日(金)	調査審議課題について
第6回	平成21年10月30日(金)	調査審議課題について 区民会議フォーラムの開催について
第7回	平成21年12月15日(火)	調査審議課題について
第8回	平成22年3月15日(月)	第2期区民会議における調査審議課題の取りまとめについて

2 企画部会		
第1回	平成20年9月3日(水)	正副部会長の選出について 広報・広聴活動について 調査審議課題について 第2期区民会議について
打合せ会	平成20年11月5日(水)	区民会議の取り組みについて
第2回	平成20年12月1日(月)	調査審議課題について 第3期区民会議について
第3回	平成21年3月5日(木)	調査審議課題について 第4期区民会議について 区民会議出前フォーラムについて
第4回	平成21年5月15日(金)	調査審議課題について 第5期区民会議について 区民会議交流会について
臨時部会	平成21年9月18日(金)	区民会議フォーラムについて
第5回	平成21年10月14日(水)	調査審議課題について 第6期区民会議について 参与との意見交換会について 区民会議フォーラムについて
第6回	平成21年12月3日(木)	調査審議課題について 第7期区民会議について 区民会議フォーラム実行委員会について 区民会議ニュースの編集作業等について
第7回	平成22年3月1日(月)	調査審議課題について 第8期区民会議について

3 地域交流部会

第1回	平成20年10月16日(木)	正副部会長の選出について 調査審議課題について かわさき市民アンケートについて
第2回	平成20年11月12日(水)	調査審議課題について ・取組事例について
第3回	平成21年1月15日(水)	調査審議課題について ・市民参加の芸術祭について
第4回	平成21年2月25日(水)	調査審議課題について ・市民参加の芸術祭について ・コミュニティーづくりについて
第5回	平成21年4月16日(木)	調査審議課題について ・市民参加の芸術祭について ・あいさつが交し合える地域づくり事業について ・市民活動推進について 第一期区民会議の継続事項について (「老人いこいの家」活性化に向けた提案)
第6回	平成21年6月8日(月)	調査審議課題について ・市民活動推進について
第7回	平成21年7月31日(金)	調査審議課題について ・市民活動推進について
第8回	平成21年9月24日(木)	調査審議課題について ・こども文化センターヒアリング調査結果について ・「あいさつが交し合える事業」経過報告 ・専修大学連携事業について
第9回	平成21年11月26日(木)	調査審議課題について ・「エコバッグを通じた世代間交流」について ・「川崎・しんゆり芸術祭」開催に伴う小・中学生の絵画展について ・「川崎・しんゆり芸術祭」開催に伴う美化清掃活動について ・「生ごみリサイクルと地産地消フォーラム」
第10回	平成22年1月21日(木)	区民会議フォーラムについて 第2期区民会議報告書について
第11回	平成22年2月19日(金)	調査審議課題について 第2期区民会議報告書について

4 環境部会		
第1回	平成20年10月17日(金)	正副部会長の選出について 調査審議課題について かわさき市民アンケートについて
第2回	平成20年11月13日(木)	調査審議課題について ・取組事例について
第3回	平成21年1月22日(木)	調査審議課題について (レジ袋の削減、環境家計簿の作成、生ゴミの堆肥化、地産地消の推進)
第4回	平成21年2月23日(月)	調査審議課題について ・生ゴミの堆肥化の推進・地産地消の推進
第5回	平成21年4月15日(水)	調査審議課題について ・生ゴミの堆肥化の推進・地産地消の推進・環境家計簿の作成
第6回	平成21年6月11日(木)	エコカルテについて 環境フォーラムについて 麻生区食生活改善推進員との懇談会について
第7回	平成21年7月30日(木)	環境家計簿コンテストについて 麻生区エコカルテについて 生ごみリサイクルと地産地消フォーラムについて
第8回	平成21年9月3日(木)	麻生区エコカルテについて 生ごみリサイクルと地産地消フォーラムについて
第9回	平成21年10月1日(木)	麻生区エコカルテについて 生ごみリサイクルと地産地消フォーラムについて
第10回	平成21年11月18日(水)	麻生区エコカルテについて 生ごみリサイクルと地産地消フォーラムについて
第11回	平成22年1月22日(金)	区民会議フォーラムについて 第2期区民会議報告書について
第12回	平成22年2月22日(金)	第2期区民会議報告書について

5 区民会議出前フォーラム実行委員会		
第1回	平成20年12月24日(水)	区民会議フォーラム企画案の検討について 実行委員会の役割分担について
第2回	平成21年1月23日(金)	区民会議出前フォーラム企画案・進め方について 報道内容について 拡大実行委員会次第案について
拡大実行委員会	平成21年1月26日(月)	区民会議出前フォーラムの企画案・進め方について チラシの配布について
第3回	平成21年2月16日(月)	区民会議出前フォーラムの進め方について
第4回	平成21年3月9日(月)	区民会議出前フォーラム来場者意見等について

6 区民会議フォーラム実行委員会		
第1回	平成21年12月21日(月)	区民会議フォーラム企画案の検討について
第2回	平成22年1月14日(木)	区民会議フォーラムについて

3

麻生区区民会議における広報等の主な取り組み

1 市政だより

平成20年	7月	第1回区民会議開催
	9月	第2回区民会議開催
	12月	第3回区民会議開催
平成21年	2月	区民会議出前フォーラム開催
	3月	第4回区民会議開催
	4月	「川崎・しんゆり芸術祭」に伴う小学生の絵画展示
	5月	第5回区民会議開催
	8月	第5回区民会議審議結果
	10月	第6回区民会議開催
	11月	「生ごみリサイクルと地産地消」フォーラム開催
	12月	第7回区民会議開催
平成22年	1月	区民会議フォーラム開催
	3月	第8回区民会議開催

2 新聞記事

平成20年	11月19日	神奈川新聞	エコバッグ作り
	11月22日	東京新聞	エコバッグ作り
平成21年	4月21日	読売新聞	「川崎・しんゆり芸術祭」に伴う小学生の絵画展示
	4月23日	東京新聞	「川崎・しんゆり芸術祭」に伴う美化清掃活動と小学生の絵画展示
		神奈川新聞	
	6月20日	読売新聞	あさおスペシャルランチ
		東京新聞	
		神奈川新聞	
	6月26日	日本農業新聞	あさおスペシャルランチ
	7月	マイタウン21	あさおスペシャルランチ
	10月	マイタウン21	エコバッグ作りとエコかるた
	11月18日	神奈川新聞	生ごみリサイクルと地産地消フォーラム
	11月19日	東京新聞	エコバッグ作りとエコかるた
	12月	マイタウン21	生ごみリサイクルと地産地消フォーラム
	2月	マイタウン21	区民会議フォーラム

3 麻生区区民会議ニュース

第1号	平成20年9月発行
第2号	平成21年1月発行
第3号	平成21年5月発行
第4号	平成21年7月発行
第5号	平成21年12月発行
第6号	平成22年発行

平成 20 年 7 月 1 日号



住みよいまちづくりのために

第 1 期区民会議の報告書がまとまる

★ 第 1 期区民会議の結果報告 ★

課題	主な取り組み内容
こどもの見守り	<ul style="list-style-type: none"> 通学路の安全を守る地域防犯パトロールに注目し、情報を収集 地域活動用ベストや腕章を製作し、町会・自治会等に配布
地元農産物と地域の交流	<ul style="list-style-type: none"> 学校農園を活用した、地域と学校との交流事業のモデルとして王禅寺小を決定 「セレサモス」を核に、地産地消や農とのふれあいの仕組みづくりを検討
元気高齢者の地域参加	<ul style="list-style-type: none"> 老人いこいの家でアンケート調査を実施し、活性化に向けた課題を整理

※詳しくは、区ホームページや区民会議ニュースをご覧ください。



第1期の思いも詰まっています



活動報告書
第 1 期区民会議（西谷明子委員長）は、五月二十九日、二年間の活動の成果を

十八年度から始まった区民会議の第一期が終了し、活動報告書がまとまりました（左記参照）。この取り組みは今後第二期へと引き継がれます。

◆ 第 2 期へバトンタッチ ◆

▼ 第 2 期区民会議委員一覧（50音順）

氏名	選出区分	氏名	選出区分
天野悦子	公募	下八川公祐	区長推薦
飯塚 馨	団体推薦（町会連合会）	菅原敬子	団体推薦（文化協会）
市川幹雄	団体推薦（安全安心まちづくり協議会）	谷川みゆき	公募
伊藤清美	公募	寺川光洋	区長推薦
碓井勝次	区長推薦	西谷明子	区長推薦
尾中真理子	公募	根占勝彦	区長推薦
梶 稔	区長推薦	守田啓子	公募
神本一枝	公募	矢野美千代	団体推薦（社会福祉協議会）
鴨志田敏彦	団体推薦（商店街連合会）	山崎 優	団体推薦（子ども会連合会）
小坊悦子	公募	渡邊 利	団体推薦（美化運動実施麻生支部）

まとめた報告書を区長に提出しました。「心が響きあう地域づくり」のテーマに沿った、こどもの見守り、地元農産物と地域の交流、元気高齢者の地域参加の三課題への取り組みの成果を報告し、第二期に引き継ぎました。

◆ 第 1 回会議開催 ◆

七月三十日（水）午後二時

◆ 課題も募集中 ◆

から、区役所四階第一会議室で第二期の第一回区民会議を開催します。新たな区民会議委員（右表）が決まり、第一期の取り組みを踏襲しつつ新たな地域づくりを進めていきます。

区民会議の傍聴に、ぜひお越しください。また、取り上げてほしい課題を募集しています。「課題とその課題を選んだ理由」を書いて（書式自由）、直接、郵送、ファクスで問い合わせ先まで。

〒215-8570 麻生区役所企画課
☎(965) 5112、FAX(965) 5200



平成 20 年 9 月 1 日号

区民会議のご案内

九月十九日（金）午後二時から区役所第一会議室にて第二回区民会議が開催されます。どなたでも傍聴できますので、お越しください。区役所企画課 ☎(965) 5112、FAX(965) 5200



平成 20 年 12 月 1 日号

区民会議情報

環境部会と地域交流部会の二つの専門部会を設置しました。それぞれ二回の審議を経て、地域の課題を整理し絞り込みました。今後は、地域の課題解決に向けた取り組みについて審議を進めます。次回の区民会議では、全体の審議のほか、各部会の活動報告も行います。傍聴にお越しください。
日時 十二月十九日（金）午後二時から
場所 区役所第一会議室
区役所企画課 ☎(965) 5112、FAX(965) 5200

市政だより **かわさき**

平成 21 年 2 月 1 日号

区民会議が みなさんの 町へ

区民会議委員がみなさんの町へ出掛ける「区民会議出前フォーラム」を開催します。

「心が響きあう地域づくり」をテーマとした第二期区民会議がスタートし、身近な工口活動や、地域の活性化など、課題の解決に向けた取り組みを審議して半年がたちました。今回、地域のみなさんに区民会議をもっと知ってもらいたい、意見交換をしたい、と出前形式のフォーラムを開催することにしました。当日は、第一期と第二期の審議

会場案内図



地域のことを一緒に考え、
住みよい町をつくっていきましよう。
みなさんご意見をお待ちしています。

西谷委員長



検討経過の報告後、参加者と意見交換をし、今後の会議運営の参考にします。ミニコンサートも予定して

ますので、ぜひご参加ください。
日時・場所 ①二月二十一日(土) 北部リハビリテーションセンター②二月二十八日(土) 麻生区役所柿生連絡所③三月一日(日) はるひ野黒川地域交流センター(上地図参照)。いずれも午後一時半～三時半。
※車での来場は、遠慮ください。
区役所企画課 ☎(965) 5112、FAX(965) 5200。

市政だより **かわさき**

平成 21 年 3 月 1 日号

第4回 区民会議開催

これまでの活動を報告

区民会議では「心が響きあう地域づくり」をテーマに、地域交流部会と環境部会の二つの専門部会が話し合いをしています。

地域交流部会では「川崎・しんゆり芸術祭」(八面参照)を市民参加で盛り上げようと、歓迎ムードづくりに取り組んでいます。具体的提案として、小学生の描いた絵画の展示や新百合ヶ丘駅周辺の美化清掃活動が出されました。

環境部会では、「工口のまちあさお」を目指してレジ袋削減、生ごみなどのリサイクルの推進、地産地消の推進について検討しています。区役所内レストランとの連携による生ごみリサイクルの推進、地元農産物を活用したメニューづくりなどが具体例として提案されました。

第四回区民会議では、これらの具体的取り組みについての報告や検討を行います。傍聴できますので、ぜひお越しください。

日時 三月十七日(火)午後
定員 当日先着三十人
場所 区役所第一会議室
区役所企画課 ☎(965) 5112、FAX(965) 5200

市 政 だ よ り
かわさき

平成 21 年 4 月 1 日号

■ 区民会議情報 ■
新百合ヶ丘に絵を飾る
区民会議と区内公立小学
校が協力して、新百合ヶ丘

駅周辺に絵を飾ります。
小学生が
描いた絵は
約二百五十
枚。発想豊
かな色とり
どりの絵が
駅前を飾り、四月二十日
五月七日の間、「川崎・しん
ゆり芸術祭」に来てくれた
人への歓迎ムードを演出し
ます。
場所 新百合ヶ丘駅北口小
田急線沿い
区役所企画課 ☎(965) 51
12、FAX(965) 5200



思わずうなります

市 政 だ よ り
かわさき

平成 21 年 5 月 1 日号

第5回 区民会議

日時 5月29日(金)
午後3時～

場所 区役所
第1会議室

区役所企画課

☎965-5112

FAX965-5200

市 政 だ よ り
かわさき

平成 21 年 8 月 1 日号

区民会議が
開かれました

五月二十九日、第五回区
民会議が開催されました。
会議では、各専門部会から
これまでの検討経過の報告
があり、活発な意見交換が
行われました。

◆地域交流部会

地域交流部会からは「川
崎・しんゆり芸術祭」の開
催に合わせた小学生の絵画
展示や美化清掃活動の実施
報告がありました。



多くの意見が出されました

今後、市民活動を推進す
るため、
区内の市
民活動拠
点施設の
取り組み
内容の調
査や施設
間の連携
について検討することにな
りました。

◆環境部会

環境部会からは、生ごみ
のリサイクルと地産地消の
取り組みが報告されまし
た。区役所内のレストラン
で出た生ごみを肥料にして

区内の農家が野菜を栽培。
その野菜を使った料理をレ
스토랑で提供する取り組
みが紹介されました。
今後、これらの取り組み
などについて講演や関係団
体の事例発表などを行うフ
ォラムを開催します。ま
た、区民、企業、行政の工
コ活動を調査し、地図など
に事例を掲載した「麻生区
エコカルテ」を作成するこ
とになりました。

区役所企画課 ☎(965) 51
12、FAX(965) 5200

環境問題講演会

～家庭でできる
温暖化対策～

家庭での地球温暖化対策
や省エネの進め方につい
て、麻生まちづくり市民の
会が講演会を開催します。

市政だより
かわさき
KAWASAKI CITY

平成 21 年 10 月 1 日号

30日に区民会議

十月二十日(金)午後三時から区役所第一会議室で第六回区民会議が開催されます。どなたでも傍聴できますので、お越しください。

区役所企画課 ☎(965)5112、FAX(965)5200

市政だより
かわさき
KAWASAKI CITY

平成 21 年 11 月 1 日号

- ◆フォーラムの主な内容
- 13:00 開会
 - 13:05 講演(後藤逸男東京農業大学教授)
 - 13:40 事例発表(世田谷区桜丘地区など)
 - 14:25 パネルディスカッション(玉置雅彦明治大学教授、農協、市環境局など)
 - 15:30 展示ブースの自由見学・終了



フォーラム 生ごみリサイクルと地産地消

区民会議が取り組む「生ごみリサイクルと地産地消」を、区民がいろいろな

市政だより
かわさき
KAWASAKI CITY

平成 21 年 12 月 1 日号

15日に区民会議

十二月十五日(火)午後三時から区役所第一会議室で第七回区民会議が開催されます。どなたでも傍聴できます。

区役所企画課 ☎(965)5112、FAX(965)5200

地域の思いに結実

身近な取り組みに参加を

地域への参加意識が高いとされる麻生エリア。地域でさまざまな「思い」を抱える人が、これまで自ら努力し多くの取り組みが生まれてきました。今月は、多くの思いが「形」となったイベントを特集します。

視点から学ぶフォーラムを「直売コーナー」も設置されます。

東京農業大学や黒川地区の実験農場を計画する明治大学、さらに資源循環の取り組みを進める世田谷区の地域団体も参加。当日は、柿生野菜生産者直売会の

日時 十一月二十九日(日)
午後一時～四時

場所 区役所第一会議室
定員 当日先着百人
区役所企画課 ☎(965)5112、FAX(965)5200

市政だより
かわさき
KAWASAKI CITY

平成 22 年 3 月 1 日号

第8回 **区民会議**

日時 3月15日(月)
午後3時～

場所 区役所
第1会議室

区役所企画課
☎965-5112
FAX 965-5200

平成 22 年 1 月 1 日号



区民会議
フォーラム

NHK「難問解決！**ご近所の底力**」の
番組プロデューサーが登場
「地域の課題解決」の秘けつ満載



地域力アップを目指す



熱い議論を交わしてきました（第2期区民会議より）

フォーラムの見どころ
講演
 講師：NHK「難問解決！ご近所の底力」チーフプロデューサー 堂垣彰久氏
報告
 区民会議の第2期の活動を報告



世代を越えた交流をサポートしました

区では、区民会議フォーラムを開催し、区民会議の報告や講演を行います。講師は、NHKで放送中の「難問解決！ご近所の底力」を手掛ける堂垣彰久チーフプロデューサー。番組で取り上げた成功事例の紹介を中心に講演を行います。
 区民会議フォーラムは、「地域づくり」について考え、区民同士が話し合う場。区民会議委員が運営し、第

六月末で任期満了を迎える第2期区民会議。二月七日(日)には、区民会議フォーラムの企画として特別ゲストを招き「地域の課題は地域で解決」をテーマに地域力アップの方法を考えます。

第2期区民会議プレイバック	
時期	これまでの足跡
20年7月	第2期区民会議スタート
20年11月	専修大学からの提案を受け、保育園児と大学生の交流活動を実施
21年2～3月	区民会議をもっと知ってもらうため、区民会議出前フォーラムを区内3会場で開催
21年4～5月	川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）を盛り上げようと、関係団体と連携して新百合ヶ丘駅周辺を清掃。また、新百合ヶ丘駅北口に区内小学生の絵画を展示
21年6月	レストランあさおにて生ごみリサイクルと地産地消のモデル事業（東京農業大学、区内農家と連携したランチを提供）始まる
21年8～9月	市民活動の地域の拠点施設を実態調査
21年11月	こども文化センターと老人いきいの家の交流イベント（かるた遊びとエコバッグ作り）開催 生ごみリサイクルと地産地消フォーラムを開催

※これまで7回の本会議、6回の企画部会、10回の環境部会、9回の地域交流部会を開催

期の二年間で地域の課題について調査・審議し、実践したことも報告します。
日時 二月七日(日)午後一時(開場午後零時半)～四時
場所 区役所四階会議室
定員 当日先着百人
 区役所企画課 ☎(965)5112、FAX(965)5200

園児が大学生らと一緒に挑戦

麻生区

世代間交流を深めるとともにエコ活動の大切さを学んでもらおうと、オリジナルエコバッグを作る催しが18日、川崎市立虹ヶ丘保育園（麻生区虹ヶ丘2丁目）で行わ



学生と会話を弾ませながらエコバッグに絵を描く園児
＝川崎市立虹ヶ丘保育園

地域振興活動に取り組んでいる同大学の学生の提案を受け、市民グループ「しんゆり・芸術のまちづくりフォーラム」が主催し、同区区民会議の七十代のメンバーも協力した。十一日から区内の市立保育園で始まり、今回で三カ所目。専修大の学生八人が、エコバッグの使用が増えることで、良好な自然環境を保てることを手作りの人形劇で分かりやすく説明。園児は用意され

地球に優しく
エコバッグ作り

2008年11月19日 神奈川新聞



あふれるエコバッグを完成させた。小野寺桜華ちゃん（左）は「上手にできた。お買物に使いたい」と笑顔で話していた。（北条香子）

麻生 市立白山保育園（麻生区白山四丁目）で二十一日、年長児二十五人がオリジナルエコバッグ作り挑戦した。写真。地域活性化に取り組む専修大商学部の前川明彦

ゼミの学生が提案し、区内の七保育園で今月中旬から順に実施している。この日は学生六人が同園で、「エコバッグマン」が活躍する自作の紙芝居を披露し、エコバッグの意義を分かりやすく園児に説明。その後で園児らと一緒に、白地のバッグに布用のクレヨンでクマや花などの絵を描き込んだり、手形を付けてたりして個性あふれるエコバッグを完成させた。小野寺桜華ちゃん（左）は「上手にできた。お買物に使いたい」と笑顔で話していた。（北条香子）

2008年11月22日 東京新聞

専修大学、「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラム、区役所が連携し、身近なエコ活動の実践を目的とした活動を行った。十一月十八日、同学の学生たちが岡上ことも文化センターを訪ね、同センターを利用する児童や合築の老人いこいの家を利用する高齢者と遊びや作業を通じ、交流を図った。まずは、学生が手作りした「エコからた」で、遊びながらエコ意識を高め、い

ざMYエコバッグ作り。布用クレヨンを使い、好きな絵を描いていく。学生たちは、作業をサポート。バッグにアイロンを掛けて画材を定着させ、児童たちに返すと、できあがったバッグを手に大喜び。活動目的の一つである世代間交流という目的も、しっかりと果たしたようだ。



2009年10月15日

マイタウン 21

2009年11月19日 東京新聞

麻生 エコバッグで交流 かるた遊びやエコバッグ作りを通じて、高齢者と児童が触れ合うイベントが十八日、麻生区岡上の川崎市岡上子ども文化センターであった。麻生区区民会議の主催で、専修大学商学部の前川明彦ゼミの学生らが企画。市立岡上小学校の一年生十七人と、地域の七十・九十代の男女十二人が参加した。参加者は布製のエコバッグに自由に海や木の絵を描いてオリジナルエコバッグ作りを楽しんだ。学生が作った「エコ

タウン



者ら児童が競って札を取っていた。写真。参加した女児（左）は「エコからたに、今まで知らなかったことも出てきて勉強になった」。島山ちい子さん（右）は「日ごろ地域の子とも交流する機会は少ない。何十年ぶりか来た遊びをして楽しかった。エコバッグは買物に行くときに使いたい」とほほ笑んでいた。

きれいな街でお出迎え

しんゆり芸術祭あす開幕 麻生区民ら清掃活動

新百合ヶ丘駅前

児童の絵画が展示されている歩道で清掃活動をする参加者
＝小田急新百合ヶ丘駅前



小田急線新百合ヶ丘駅周辺で二十四日に開幕する「川崎・しんゆり芸術祭2009」(アルテリッカルしんゆり)を前に、麻生区民ら約二十五人が二十一日、同駅周辺の清掃活動を行った。歓迎準備も整い、地域の芸術を結集する初の祭典がいよいよ始まる。

清掃は、公衆の区民などで構成する麻生区区民会議(定数二十一人)が「街をきれいに」して、芸術祭に訪れる人々を歓迎したいと呼び掛けた。芸術祭実行委員会のメンバーも加わり、雑草や缶などのごみや落ち葉を拾い集めた。

芸術祭は二十四日から五月十日まで、新百合ヶ丘駅周辺の市アートセンターや昭和音楽大など九会場で開催。劇団民芸の演劇やエリック・ミヤシロさんのコンサート、日本映画学校設置の故今村昌平監督の映画作品上映など、二十七の演目が用意されている。三日には昭和音楽大卒業生で静岡国際オペラコンクールで一位になった光岡晴恵さんのリサイタルもある。問い合わせは実行委員会(0522)502411へ。(北条香子)

24日から始まる「川崎・しんゆり芸術祭2009」を前に、川崎市麻生区の小田急線新百合ヶ丘駅北口で20日、同区内の17小学校の児童たちから寄せられた絵255枚をフェンスにミニネット加工し、長さ約90センチあるフェンスに飾った屋外ギャラリーが登場した。

絵は「わたしたちの町くわがまち自慢」をテーマにして、自分たちの町の風景や祭り、身近に楽しめるユリや桜などの花々が、クレヨン

子どもが描く しんゆり90分

や水彩絵の具、色鉛筆などで、それぞれ画用紙(縦約30センチ、横約40センチ)いっぱいに描かれている。

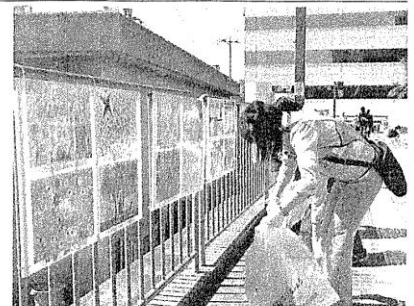
この展示は、麻生区区民会議が、5月10日まで行われる芸術祭を盛り上げ、同区内の児童たちの参加を促そうと企画。同会議の西谷明子委員長は「小学生たちの絵で、麻生区のすばらしさが、楽しく紹介されている」と話している。展示は5月7日まで。

2009年4月23日 東京新聞



「川崎・しんゆり芸術祭」を前に、約90枚あるフェンスに飾り付けられた児童たちの絵(20日、川崎市麻生区の小田急線新百合ヶ丘駅前)

2009年4月21日 読売新聞



麻生区内の児童が描いた絵が飾られる通路を清掃する区民会議のメンバーら
＝麻生区の小田急線新百合ヶ丘駅周辺

清掃活動で歓迎ムード

麻生区あすからしんゆり芸術祭

オペラや映画、狂言などの公演が楽しめる「川崎・しんゆり芸術祭」(アルテリッカルしんゆり)2009が二十四日から、川崎市麻生区の新百合ヶ丘地区で始まるのを前に、同区内の小学生が地域をきれいに清掃した。同区民会議のメンバーら(二十四日、小田急線新百合ヶ丘駅周辺)は清掃で小学生の絵など、地域で芸術祭を盛り上げるムードを高めた。

「しんゆり芸術祭」をアピールしようと、区民ら約四十人が参加。区内の小学生が地域をきれいに清掃した。同区民会議のメンバーら(二十四日、小田急線新百合ヶ丘駅周辺)は清掃で小学生の絵など、地域で芸術祭を盛り上げるムードを高めた。

区民の参加を通じて歓迎ムードを盛り上げていきたい」と話した。

芸術祭は二十四日から五月十日まで、市アートセンターや新百合ヶ丘駅周辺など、同地区にある九つのホールで開催。落語家の林家正蔵さんによる「ジャズ落語」や、人形劇団ひとみ座の公演、昭和音楽大管弦楽団のコンサートなど、多彩な演目がめじろ押しとなっている。問い合わせは同祭実行委員会事務局(044)952)5046。(中馬 健作)

2009年4月23日 神奈川新聞

生ごみを野菜肥料に

麻生区役所レストラン 循環型地産地消を開始

レストランの生ごみをリサイクルした肥料で野菜を育て、レストランで料理として提供する「循環型地産地消プロジェクト」が19日、川崎市麻生区役所4階のレストラン「あさお」で始まり、地元農家が育てたキュウリ30本が、スペシャルランチ（500円）70食の和風サラダの中に使われた。今後は、毎月19日の「食育の日」などのスペシャルランチで行うという。

この取り組みは、同レストランから1日に約10kg排出される生ごみを、東京農大（東京都世田谷区）にあるリサイクル研究プラントで肥料化。できた肥料を、麻生区古沢の農家へ無料提供し、キュウリやトマト、ナスなどの地元野菜の栽培に使ってもらい、収穫した野菜を買い取ってレストランで料理に使う。緑豊かな麻生区の特徴を生かした循環型社会を目指す取り組みとして、区内の課題を話し合う区民会議（西谷明子委員長）で提案され、3月から生ごみの肥料化が始まった。

この日のスペシャルランチの主菜はローストポークで、70食は約30分で完了。主菜に盛りつけた和風サラダの中にキュウリを使ったシエフの對比地治夫さんは



スペシャルランチを楽しむ区民会議メンバー（19日）

2009年6月20日 読売新聞

食育の日、食堂で地場産メニュー

神奈川県川崎市麻生区役所

【神奈川・セリサ川崎】川崎市麻生区役所のレストラン「あさお」に地場産物を使った新しいメニューが登場した。区民会議が企画したもので、毎月19日を「食育の日」として位置づけ、



地元野菜を味わう西谷委員長と磯野区長

この日に特別メニューとして提供していく計画だ。同会議は、生ごみリサイクルと地産地消を推進するため、区役所内のレストランから出る生ごみを東京農業大学のリサイクル研究プラントで堆肥（たいひ）化している。区内の井上清士さん（60）が「堆肥を使っ

て野菜を栽培し、食材としてキャベツやキュウリなどを提供した。19日ランチメニューとして登場したのは、「ジャコとキャベツの和風サラダ」。「あさお」スペシャルランチとして1食500円で来店客に提供したが、開店後、約30分で完売した。来月は「キャベツのスープ煮し煮」を予定している。

料理を味わった磯野利男区長と同会議の西谷明子委員長は「生ごみ堆肥で栽培した野菜は特においしい」と大評判。地元野菜を味わえる新名所をつくり、食のリサイクルが実現できたと喜んだ。

南関東

情報提供は下記に

東京支所

〒110-8722
台東区秋葉原2-3
☎03(5295)7437
ファクス
03(5295)7477

埼玉県中央会 ☎048(829)3307
千葉県中央会 ☎043(245)7318
東京都中央会 ☎042(528)1372
神奈川県連広報局 ☎0463(26)8751

2009年6月26日 日本農業新聞

地産地消メニュー提供開始

「みずみずしく、とても良い品物だった。来月は、トマトで献立を考えたい」と話し、暖化対策の一つとして、広げた」と話していた。

区内で収穫した旬の野菜を使った「麻生区産メニュー」を提供する取り組みが、「レストランあさお」（対比地治夫シェフ、麻生区役所4階）で始まった。

古沢地区で取れたキャベツと堆肥「みどりくん」で栽培したキュウリを使った。6月19日のスペシャルランチ「ローストポーク、ジャコとキャベツの和風サラダ」（500円）約70食は、わずか30分で売り切れた。

同レストランで廃棄される生ごみを3月から収集し、東京農業大学リサイクル研究プラントに託し堆肥化。できた堆肥「みどりくん」を麻生区内の協力農家に提供し、農作物を栽培・収穫してもらった。その農作物を同レストランでメニュー化することにより、「生ごみリサイクルと地産地消のサイクル」ができあがった。

この日集まった区民会議メンバーは、揃ってスペシャルランチを味わった。磯野区長は、「野菜が新鮮でとてもおいしかったですよ。区民のみさんにもぜひ食べていただきたい」と述べた。西谷委員長は、「おいしくいただきました。この取り組みを今後も広げていきたい」と語っていた。同レストランでは、毎月19日の「食育の日」に、「麻生区産メニュー」を提供する予定だという。



2009年7月1日 マイタウン21

2009年6月20日 東京新聞



あさおスペシャルランチを楽
しむ磯野利男区長(右)と西谷明
子委員長(左)麻生区役所で

地元の野菜でランチ
麻生 食育の日の
毎月十九日に、地
元の食材を使った
「あさおスペシャルラ
ンチ」を提供する取り組み
が十九日、麻生区役所内
の「レストランあさお」
で始まった。
同区区民会議が提案し
た地産地消活動の一環。
初回のメニューは、同区
古沢で採れた野菜を生か
した「キャベツとじゃこ
の和風サラダ」で、同レ
ストランの生ごみから作
った肥料「みどりくん」
で栽培したキュウリも使
用された。七十食を用意
したが三十分余りで完売
したという。

でおいしかった。区民に
も食べてもらい、食育を
アピールしていきたい」と
話し、同会議の西谷明
子委員長(左)も「地球環
境問題の解決に向け、さ
らに地産地消や循環型農
業を推進したい」と述べ
た。
(北条香子)



一石二鳥のランチ提供

麻生区役所 レストラン 「ごみ減量と地産地消」

麻生区役所4階の「レストラ
ンあさお」で19日、生ごみリサ
イクルと地産地消の「一石二鳥」
を狙った「あさおスペシャルラ
ンチ」の提供が始まった。同店
で出た生ごみ由来の肥料を使っ
て、区内で育てた野菜を、食材
として利用するユニークな試み
で、温暖化の防止を目指す。
「ごみの減量と地産地消の促進
区内産の食材を用いたランチ
に舌鼓を打つ麻生区区民会議
のメンバーら」麻生区役所4
階の「レストランあさお」

によって、地球温暖化防止を目
指す麻生区区民会議の取り組み
の一環。
取り組みでは、まず同店から
出る1日約10^キの生ごみを、生
ごみを肥料に変える研究を行う
東京農業大学(東京都世田谷区)
に運搬。麻生区内の農家が、生
ごみから製造された肥料「みど
りくん」約200^キを使いキュ
ウリやトマトなどの野菜を栽培
する。できた野菜を食材とした
メニューを、同店で提供する。
という仕組みで、同区によると
市内初の取り組みという。

この日提供されたのは、「み
どりくん」を使って区内で栽培
されたキュウリを用いた、和風
サラダとローストポークのラン
チ(500円)。区内の食育ボ
ランティアらが、栄養バランス
などを考慮して考案した。利用
客からも好評で、用意した約
70食が30分足らずで売り切れた
という。
今後同店では、毎月19日に同
様の食材を用いたランチを提供
する予定だ。同会議の西谷明
子委員長(74)は「キュウリの
味がよく、とてもおいしく食
べられた。地産地消と食べ物の
循環を促進するこの取り組みを
広めていければ」と意気込んで
いる。
(中馬 健作)

2009年6月20日 神奈川新聞

▽生ごみリサイクルと地産地消フォーラム 29日午後1〜4時、麻生区役所4階第1会議室。同区区民会議主催。東京農業大学教授の後藤逸男さんの講演、各団体の取り組み事例発表、パネルディスカッション、市民から公募した堆肥(たいひ)や肥料で育てた花・野菜の写真展示など。参加無料。先着100人にフォーラム終了後、区内産野菜または生ごみ肥料「みどりくん」贈呈。事前申し込み不要。希望者は直接会場へ。問い合わせは、区企画課☎044(965)5112。

2009年11月18日 神奈川新聞

街

編集部がまちで見つけた地域の身近な話題をお届けします。



玉置教授は、緑地の保全計画や建設が予定されている研究棟の配置など分かりやすく説明した。左から/西谷明子委員長(麻生区区民会議、中央大学名誉教授)、玉置教授、梶氏、佐藤氏。



▲後藤教授

また、生ごみリサイクルなどに積極的に取り組んでい

11月29日、麻生区役所で「生ごみリサイクルと地産地消フォーラム」(主催/麻生区区民会議)が開催された。会場に用意されたイスが足りず、次々と席が設けられるほど、多くの参加者を得た。

講演を行ったのは、東京農業大学の後藤逸男教授。講義を行ったのは、東京農業大学の後藤逸男教授の循環や苦勞をユーモアとした「麻生区産メニュー」として提供されるまで

後藤教授は、「麻生区は、全国的にみて住民の意識がかなり高い」と評価。「麻生区から日本全国へ、生ごみリサイクルの実践的活動の輪を広げましょう」と熱く語る。

(応用生物科学部)。「生ごみリサイクルで環境にやさしい地産地消」をテーマに、同区内小学校や同区役所内

では、同区黒川に研究農場を新設予定の明治大学から玉置雅彦教授(農学部)、梶稔氏(JAセレス川崎・営農経済本部長)、佐藤好子氏(市環境局廃棄物政策担当主幹)が、それぞれ

2009年12月10日 マイタウン21

「ダンボールコンポストの説明には、多くの方が集まり、熱心に質問する姿も多く見られた。」




★
セミナー
★

区民会議フォーラム開催 地域の課題は地域で解決！

特別ゲストを招き地域力アップを考える

放送中の「難問解決!ご近所の底力」を手掛ける堂垣彰久チーフプロデューサー。番組で取り上げた成功事例の紹介を中心に講演を行う。



6月末で任期満了を迎える、第2期区民会議の取組状況を報告するためのフォーラムを開催。特別ゲストを招き、「地域の課題は地域で解決」をテーマに地域力アップの方法を考える。

区民会議フォーラムは「地域づくり」について考え、区民同士が話し合う場。区民会議委員が運営し、第2期の2年間で地域の課題について調査・審議し、実践したことなども報告する。

【内容】
 アトラクション(ミニコンサート)。
 ①開会：西谷区民会議委員長、磯野区長の挨拶。
 ②講演：「地域の課題は地域で解決」。
 ③報告：区民会議の活動報告。
 ④質疑応答：参加者との質疑応答。
 ⑤閉会。

2月7日(日)13時(開場12時30分)～16時、麻生区役所4階会議室(新百合ヶ丘駅2分)。定員／当日先着100人。申込不要。講師は、NHKで

問合せ ☎ 965-5112
麻生区役所企画課

2010年2月1日 マイタウン 21

第2期 麻生区区民会議 ニュース vol.1 2008.9

発行：麻生区区民会議
編集：企画部会
事務局：麻生区役所 企画課
電話：044-965-5112
Fax：044-965-5200
E-mail：73kikaku@city.kawasaki.jp

第2期区民会議がはじまりました

平成17年4月に施行された川崎市自治基本条例を受け、翌年4月の区民会議条例施行に基づいて各区に区民会議が設置されてから早くも第1期(平成18年7月～20年6月)が終了し、第2期の区民会議がはじまりました。団体推薦7名、区長推薦6名、公募7名の計20名(内6名が第1期から継続)の新委員が決まり、7月14日の事前説明会を経て、新しい構成でのスタートとなりました。

第1回 区民会議

平成20年7月30日(水)第2期第1回区民会議が開かれました。

(傍聴者 7名)

初めに太田区長より各委員に市長からの委嘱状が渡され、その後、正副委員長の選出が行われました。



また、区民会議運営要領が承認され、区民会議運営の事前調整、課題整理、

広報・公聴については企画部会を設けることになりました。企画部会構成委員は正副委員長に加え、立候補により、7名の委員に決まりました。

〈正副委員長・企画委員は右表を参照〉

区民会議は…

市民の参加と協働によって暮らしやすい地域社会を築いていこうという考えのもと「市民によるまちづくり」を進めるために設置されました。地域の課題を区民が主体となって地域で解決するためにどうすればよいかということを話し合います。

第2期区民会議委員(敬称略)

役割(所属部会等)	氏名	選出区分等
委員長(企画・地域交流)	西谷 明子	区長推薦(学識経験者)
副委員長(企画・環境)	神本 一枝	公募
副委員長(企画・環境)	渡邊 利	団体推薦(緑・環境)
(企画・環境)	天野 悦子	公募
(地域交流)	飯塚 馨	団体推薦(市民自治)
(環境)	市川 幹雄	団体推薦(防災・防犯)
(企画・環境)	伊藤 清美	公募
(環境)	碓井 勝次	区長推薦(市民自治)
(地域交流)	尾中真理子	公募
(環境)	梶 稔	区長推薦(地域特性(農業))
(地域交流)	鴨志田敏彦	団体推薦(産業振興)
(地域交流)	小坊 悦子	公募
(地域交流)	下八川公祐	区長推薦(地域特性(4大学連携))
(地域交流)	菅原 敬子	団体推薦(文化・観光)
(企画・地域交流・広報)	谷川みゆき	公募
(地域交流)	寺川 光洋	区長推薦(地域特性(文化芸術))
(地域交流)	根占 勝彦	区長推薦(市民自治)
(企画・地域交流・広報)	守田 啓子	公募
(地域交流)	矢野美千代	団体推薦(福祉・健康)
(環境)	山崎 優	団体推薦(教育・子育て)

◆第2期の全体テーマと審議課題について

各委員から「こういうことが必要」「この問題に取り組みたい」と熱く語られました。地球温暖化対策、エコのまち、環境、緑の保全、文化芸術、市民活動、高齢者福祉、都市型コミュニティ、異世代間の交流、子育てと課題分野は多方面にわたりましたので、委員の意見を参考に課題の整理及び調整は企画部会に委ねられました。

第2回 区民会議

全体テーマ「心が響きあう地域づくり」に決まりました

平成20年9月19日（金）第2回区民会議が開かれました。第1回区民会議を受けて企画部会からの報告及び提案、全体テーマ・取り組む課題についての審議、「川崎市の地球温暖化に向けた取組について」の勉強会と盛りだくさんの内容となりました。（傍聴者 6名）

◆企画部会報告事項

部会長:神本一枝委員・副部会長:伊藤清美委員
広報公聴担当:谷川みゆき委員・守田啓子委員

◆神本企画部会長より以下のような審議課題についての提案がされ、承認されました。

- ①第1期の「心が響きあう地域づくり」は、どの活動にも目標となりうる共通の方向性をもっているため、第2期もこれを引き継ぎ、全体テーマとする。
- ②第2期で提出された審議課題は、多岐にわたっているものの、大きく「環境」と「地

域交流」のどちらかに関係すると考え、「環境部会」、「地域交流部会」を立ち上げ、専門部会として進めていく。

- ③第1期に取り組んだ3つの課題を継続して深めていくことについて、「地元農産物と地域の交流」は環境部会で、「こどもの見守り」「高齢者が輝く地域づくり」は企画部会で扱うこととする。

- ◆10月に2つの専門部会が開かれることになり、正副部会長を決めた上で課題の選定を行い、調査審議が本格スタートします。

◆「川崎市の地球温暖化に向けた取組について」勉強会

委員の共通認識を深めるための勉強会として、川崎市環境局地球環境推進室の広瀬課長補佐においでいただき、説明を受けました。今年2月に発表されたカーボン・チャレンジ川崎エコ戦略（CCかわさき）における全市をあげてのいろいろな取組が紹介されました。

川崎市内のCO₂の排出量は、川崎の土地柄もあり、企業が8割、家庭は2割とのことですが、人口の伸び以上に家庭での消費電力が年々増加しているため、産業はもとより、各家庭での取り組みにも期待したいとのことでした。

- * 今後の日程（区民のみなさんの傍聴をお待ちしています。詳細は麻生区役所企画課まで）
平成20年度 第3回区民会議 12月19日（金） 15:00～17:00
- * 区民会議へのご意見・ご提案は、随時募集しています。
区役所内2階ロビーに設置している「提案箱」や区ホームページをご利用ください。
- * 麻生区区民会議ニュースは、町会連合会のご協力により回覧されています。

第2期 麻生区区民会議 ニュース vol.2 2009.1

発行：麻生区区民会議
編集：企画部会
事務局：麻生区役所 企画課
電話：044-965-5112
Fax：044-965-5200
E-mail：73kikaku@city.kawasaki.jp

～心が響きあう地域づくり～

第3回 区民会議

平成20年12月19日（金）第3回区民会議が開かれました。第2回区民会議で設置された2つの専門部会が取り組む課題についての検討経過報告があり、それにもとづいて意見交換、審議を行いました。（傍聴者4名）



1. 地域交流部会報告

1) 「文化芸術・地域活性化」にかかわる課題について

今年4/24～5/10のゴールデンウィークに開催予定の「川崎・しんゆり芸術祭2009」について、区民会議の「区民主体の文化芸術のまちづくり」という課題との関係で区民会議としてどのように関わっていくか意見交換を行った。区民の交流を意識した「市民参加の芸術祭」を取組み課題とし、雰囲気づくりのための側面支援として以下のような提案が出された。

- 区民会議のネットワークを活用して広報・PRなどの支援
- 新百合ヶ丘駅周辺の清掃
- ペDESTリアンデッキを、区内の小中学生の絵画や花などで飾る
- 子育て中の人に参加しやすい態勢の準備
- 音楽以外の芸術分野にふれる機会をつくる
- 昭和音楽大学隣接の公園でのイベント開催（例：彫刻展）
- 芸術に携わる人と市民とのネットワーク構築の検討

「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラム、専修大学商学部前川ゼミの学生、保育園児との協働により、区内7保育園にてオリジナルエコバッグの作成に取り組みました。学生によって紙芝居や寸劇などでエコについてお話があり、「しんゆり・芸術のまち」のロゴ入りエコバッグに園児が自由に絵を描いて、楽しい雰囲気の中で行われました。



大学生と子どもたちとの交流・エコ啓発・エコバッグを通じた親子の会話などなど収穫いっぱい！

2) 「市民活動の推進」と「異世代間の交流・子育て」にかかわる課題について

異世代交流では、
高齢者や子どもなど異なる世代が交流できる場が必要なのでは？

市民活動推進では

市民活動の相談事業に関連して「市民活動の場ご案内」のデータの充実をはかる必要がある。などの意見が出された。

事務局からは、第1期区民会議の提案を事業化した「あいさつが交し合える地域づくり事業」について、今後2年間かけて区内のコミュニティづくりの実態を調査して事例集をまとめる予定との報告があった。

報告・提案については了承され、具体的な実施について引き続き検討されることとなった。



2. 環境部会報告

「エコのまち あさお」の推進

～持続可能な地域社会の創造を目指して～

「どういうまちをつくるのか」という麻生区の将来像についてはすでに「区づくり白書」「都市計画マスタープラン」などに示されている。それらをふまえ、地球温暖化も含め環境面から「エコのまち あさお」の推進を取り上げるようになった。

「エコのまち あさお」は幅広い内容のため、まず身近なものに絞り取り組むこととし、以下のような提案が出された。

1) 身近な地域からの温暖化対策（CO₂削減など）の実践

- レジ袋削減にむけたエコバッグの普及啓発
- 環境家計簿の作成

2) 身近な地域からの緑化活動などの実践

- 生ごみ堆肥化などの推進
- 地産地消の推進

これらの報告・提案を受けて、

「環境家計簿は簡単にできて楽しいとか、家計の支出が減るなど、誰でもできるもの考える必要がある」

「味付けされた残飯などは長い間やると塩分が土壌をだめにするため、生ごみは何でも良いわけではなく配慮が必要」などの意見も出され、具体的な取り組み実施については部会で引き続き検討されることとなった。

区民会議 出前フォーラムを開催します

現在までの区民会議の経過・今後の取組みなどの報告、区民の皆様との意見交換を行います。

「区民会議」をたくさんの皆様に知っていただき、地域づくり・地域交流・身近なエコ活動・子育てなど、区民の皆様と考えたいと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

○開催日程・場所など

平成21年2月21日（土）13:30～	川崎市北部リハビリテーションセンター会議室
平成21年2月28日（土）13:30～	麻生区役所柿生連絡所会議室
平成21年3月1日（日）13:30～	はるひ野黒川地域交流センターホール

- * 今後の日程（区民のみなさんの傍聴をお待ちしています。詳細は麻生区役所企画課まで）
平成21年度 第4回区民会議 3月17日（火）15:00～17:00
- * 区民会議へのご意見・ご提案は、随時募集しています。
区役所内2階ロビーに設置している「提案箱」や区ホームページをご利用ください。
- * 麻生区区民会議ニュースは、町会連合会のご協力により回覧されています。



第2期 麻生区区民会議 ニュース vol.3 2009.5

発行：麻生区区民会議
編集：企画部会
事務局：麻生区役所 企画課
電話：044-965-5112
Fax：044-965-5200
E-mail：73kikaku@city.kawasaki.jp

～心が響きあう地域づくり～

第4回 区民会議

平成21年3月17日(火) 第4回区民会議が開かれました。区民会議出前フォーラム(3回開催)の報告、地域交流部会及び環境部会の検討経過報告が行なわれ、それらについて意見交換・審議を行いました。(傍聴者3名)

出席参与 = 尾作、勝又、花輪、山崎、山口の各市議会議員



1. 区民会議「出前フォーラム」報告

今回のフォーラムは、3ヶ所の地域へ出向いて「出前フォーラム」として実施した。

- ①平成21年2月21日(土)
川崎市北部リハビリテーションセンターにて
来場者 24名
- ②平成21年2月28日(土)
麻生区役所柿生連絡所(柿生地区会館)にて
来場者 15名
- ③平成21年3月1日(日)
はるひ野黒川地域交流センターにて
来場者 12名

それぞれの会場で、開会后、先ず昭和音楽大学生による「ミニコンサート」(約20分)を開催し、来場者から大変好評を得られた。続いて下記の報告会が行なわれた。

- (1) 区民会議の役割・第1期区民会議報告
(西谷委員長)
- (2) 地域交流部会の審議経過報告
(根占部会長)
- (3) 環境部会の審議経過報告
(伊藤部会長)



その後、意見交換会が行なわれ、多くの意見や要望が出され、活気ある「出前フォーラム」とすることが出来た。

今後、出された意見や要望を区民会議で取り上げ、可能な限りその対応を図っていくことになった。(詳細については3・4面)

2. 調査審議課題について

①地域交流部会

- ◆ 区民主体による文化芸術のまちづくり
- ◆ 麻生区民にとっての「しんゆり芸術のまちづくり」の意義

「芸術祭」を「文化芸術のまちづくり」の絶好の機会として捉え、市民参加を図りながら連携支援する。芸術祭への連携支援のあり方としては、区民会議のネットワークを活用し、地域と連携しながら広報・雰囲気づくり等側面的支援をする。

<取組事例>

- ◇「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラムと連携し、エコバッグを通じた大学生と幼児との交流事業を実施（H20年11月）
- ◇新百合ヶ丘駅ペDESTリアンデッキ上オブジェ囲いの改修（H21年2月）

◇区内の小学生の絵画の展示

「わたしたちの町～わがまち自慢～」をテーマとした小学生の描いた絵画を飾り、街の賑わいや歓迎ムードを演出、芸術祭の雰囲気づくりをする。

（実施期間）平成21年4月20日（月）～平成21年5月7日（木）
（実施場所）新百合ヶ丘駅北口フェンス



◇新百合ヶ丘駅周辺の美化清掃活動

区民や地域の団体等と連携し、新百合ヶ丘駅周辺の美化清掃活動を行ないクリーンアップすることで、「芸術のまち」にふさわしい清潔感のある雰囲気づくりと街のイメージアップを図る。

（実施時期）平成21年4月22日（水）
（実施場所）・新百合ヶ丘駅南口

- ・ペDESTリアンデッキ上の水施設周辺
- ・新百合ヶ丘駅南口ペDESTリアンデッキ上
- ・新百合ヶ丘駅北口絵画展示場所周辺



<美化清掃活動の様子>

◆「あいさつが交し合える地域づくり事業」の実施

地域の特徴的なコミュニティ活動について、町会・自治会や市民活動団体を対象にアンケート・ヒアリングを実施中。

上記について、報告・意見交換を行ない、承認された。

②環境部会

◆エコのまちあさおの推進

～持続可能な地域社会の創造を目指して～

◇身近な地域から地球温暖化対策を实践

- ・川崎市地球温暖化対策地域推進計画、カーボンチャレンジ川崎エコ戦略（CCかわさき）等と連動し、家庭におけるCO2削減を推進する。
- ・エコ意識を高めるため、エコの普及啓発活動を展開する。
 - レジ袋削減に向けたエコバッグの普及啓発
 - 環境家計簿を検討

◇身近な地域から緑化活動等を实践

- ・川崎市環境基本計画、緑の基本計画等を踏まえ、身近な地域から実践的な緑化活動を行なう。
- ・麻生区の地域特性である農を活かしたまちづくりを進める。
- ・里地・里山を活かしたまちづくりを進める。



◇生ゴミのリサイクル（実行に移して行く）

[生ごみのリサイクルの推進]

- ・レストランあさおの生ごみを収集して東京農大へ搬出。
- ・東京農大のリサイクル研究プラントにて生ごみから肥料「みどりくん」を作る。

[地産地消の推進]

- ・区内農家で肥料「みどりくん」を使って野菜を生産、レストランあさおにてその野菜を使ったメニューを提供。

上記について、報告・意見交換を行ない、承認された。その他、今後各家庭においてダンボールコンポスト方式による堆肥化について当部会で検討して行くこととした。

麻生区区民会議「出前フォーラム」意見交換会での主な意見および区民会議としての考え方

① 専門部会に関する意見 ☀ ▶ ☀ ▶ ☀ ▶ ☀ ▶ ☀ ▶ ☀

- ❖ 芸術祭の開催に伴い、高齢者や子どもが参加しやすいよう、例えば無料で駐車できる場所の確保はできないか。町に出やすいし、芸術祭などのイベントに参加しやすい。
⇒芸術祭の開催に伴う無料駐車場の確保はむずかしい。
- ❖ 芸術祭の時に、広場に模造紙を敷いて思う存分に絵を描くなどの子どもを巻き込んだ企画を立ててほしい。
⇒今年は芸術祭の雰囲気づくりとして絵画の展示や清掃活動を行う。来年度以降、芸術祭が開催される場合は芸術祭の実行委員会に子どもたちが参加できる企画を検討してもらうようはたらきかけていく。
- ❖ 生ごみの堆肥化について、農家との連携に期待している。
- ❖ 生ごみリサイクルについては、市民に認知されるPRや各団体の横断的な連携を望む。
- ❖ 環境部会の活動については、基本的に歓迎している。
- ❖ 区民会議のエコの取組として、照明を白熱灯から蛍光灯やLED灯に変換することを奨励するなどしてはどうか。
⇒照明器具については環境部会の中で取組事例のPRを検討する。
- ❖ レジ袋削減には賛否両論ある。有料化など意識の高まりが必要。エコグッズのコンペをして商品化したらどうか。エコ活動している店舗等に何かマーク（例：ミシュランの三ツ星のように）をつけてはどうか。
⇒環境部会の中で検討する。

② 区民会議のあり方に関する意見 ☀ ▶ ☀ ▶ ☀ ▶ ☀

- ❖ 第1期の取組課題の継続性について第2期に引継いでいるようだが、不明瞭ではないか。
⇒配布資料には引継ぎの部分の説明が欠けていた。引継いで取組んでいくこととしている。
- ❖ 区民会議が調査審議に留まらず実践的取組をするのは良いと思う。／区民会議の役割と市民活動団体の役割は違うのではないか。区民会議は実戦部隊ではないのではないか。／区民会議の位置づけ、既存団体との違いについて知りたい。／市民の会と区民会議の違いを知りたい。
⇒第2期区民会議では調査審議のほか、他の担い手と連携して実践活動をする中で目に見える成果を出すようにしている。
- ❖ 区長への提言はどのタイミングでするのか。
⇒第2期の終わりに調査審議の結果をまとめて区長に提言することとしている。
- ❖ 区民会議って何？出前フォーラムのチラシを見てもわからない。もっと地域に密着した取組をお願いしたい。／区民会議の認知度が低いように思う。
⇒「区民会議」をもっと知ってもらうため、今回出前フォーラムを開催した。
- ❖ 第1期で高齢者の課題に取り組んだが、区の予算で課題解決に向けた取組ができないだろうか。
⇒第1期の高齢者部会での提案に対する担当部署の考え方について確認する。
- ❖ 川崎市7区全ての区民会議を傍聴している。参与の発言がほとんどない。
⇒麻生区では必ず参与に発言をしてもらっている。

- ❖ 今回、柿生連絡所で実施したことに関して感謝している。参加促進を図る方法として、農産物直売所や北部市場への買い物ツアーを企画してはどうか。

⇒参加促進のための方法などを検討していく。

- ❖ 市議会議員は参与でなく、区民会議を構成する委員として参加させ、課題解決を図ってはどうか。

⇒区民会議条例で市議会議員は参与と定められている。

- ❖ ホームページに議事録が掲載されているが、要約したのも掲載してほしい。

⇒要約議事録のHPへの掲載については企画課で検討する。

- ❖ 配布資料や説明から、2期目の区民会議ではどのような課題があがり、第1期の課題も含め、どのように取り組んでいくのかが見えなかった。

- ❖ 団体推薦枠は任命権も含めて団体をお願いしている。行政はその課題を解決してほしいからその団体に推薦をお願いしている。団体推薦の人はその部会を設置して解決に取り組んだらどうか。第1期の区民会議ではほとんど参加しない委員があり、途中で交代してもらったほうがよかったのではないか。

⇒第2期の区民会議では、理由無く会議に参加しない委員はいない。

③ その他、意見、要望など ☀ ▶ ☀ ▶ ☀ ▶ ☀ ▶ ☀ ▶ ☀

- ❖ 同じ取組をするにも、町会によって地域の力が違うので取組の結果に差が出る。区民会議には地域力の向上に寄与する取組を期待する。

⇒現在は地域で取り組む防犯パトロール活動に対してベストや腕章の配布などの支援をしている。今後も必要があれば他の支援策も検討していく。

- ❖ 麻生区選出の議員と意見交換する機会を設けてほしい。

⇒既に市民団体が「議員と語る会」を開催している。区民会議では参与としての参加。

- ❖ 老人いこいの家の申込が半年ごとになっていて、そこで抽選にもれると半年待たなくてはならない。

⇒老人いこいの家の申込については、担当部署に実態を確認していく。

- ❖ 災害時の高齢者・障害者への対応が課題ではないか。

⇒災害時の高齢者等の対応は、災害時要援護者制度の取組が行われている。

- ❖ 高齢者施設から出る生ごみをリサイクル目的で回収できないか。

⇒高齢者施設の生ごみ回収については環境局へ情報提供する。

- ❖ 若いお母さん方がいきいき暮らせるような地域を目指してほしい。麻生区の保育園の待機児童を減らすことができないか。たとえば古沢に新設される病院に託児所を設置してもらいたい。

- ❖ 緑を守ることは大切で、進めていかななくてはならないが、地元の負担が少なくなるような助成制度など検討していただきたい。相続で払えないと市で買い上げることになっているが、予算がないからそのままになってしまうケースがある。

などの意見が出されました。

～ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。皆様からのご意見は今後検討していきます～

- * 今後の日程（区民のみなさんの傍聴をお待ちしています。詳細は麻生区役所企画課まで）
平成21年度 第5回区民会議 5月29日（金） 15：00～17：00
- * 区民会議へのご意見・ご提案は、随時募集しています。
区役所内2階ロビーに設置している「提案箱」や区ホームページをご利用ください。
- * 麻生区区民会議ニュースは、町会連合会のご協力により回覧されています。



第2期 麻生区区民会議 ニュース vol.4 2009.7

発行：麻生区区民会議
編集：企画部会
事務局：麻生区役所 企画課
電話：044-965-5112
Fax：044-965-5200
E-mail：73kikaku@city.kawasaki.jp

～心が響きあう地域づくり～

第5回 区民会議

平成 21 年5月29日(金) 第5回区民会議が開かれました。地域交流部会及び環境部会の検討経過報告などが行なわれ、それらについて意見交換・審議を行いました。(傍聴者4名)

出席参与 = 雨笠、伊藤、勝又、山崎の各市議会議員



調査審議課題について



①地域交流部会

◇「川崎・しんゆり芸術祭」の支援

「川崎・しんゆり芸術祭」の開催に併せて、芸術祭の雰囲気作りを演出するため、小学校長会や美化ボランティアなど他団体と連携して、小学生の絵画展示及び新百合ヶ丘駅周辺の美化清掃活動を実施しました。小学生の絵画展は、足を止めてご覧になる方も多く見受けられ、実施して良かったとの意見が多く出されました。その一方で、次のような課題もあげられました。

- ・ 実施目的などを記載した看板が小さくわかりにくかった。
- ・ もう少し展示物が多い方がよかった。
- ・ 幼稚園も含めて検討した方がよいのではないか。 など。

これら課題等を踏まえ、次年度以降の展開については、芸術祭実行委員会の動向を見守ることになりました。また、美化活動について区民会議としては、区役所周辺において月2回定期的（第1木曜日・第3火曜日）に実施されている美化ボランティア活動に、委員が今後も可能な範囲で参加協力していくこと

になりました。

◇「市民活動の推進」の取組

現在、市民活動の区の拠点施設として「市民交流館やまゆり」・「麻生市民館」が、地域の拠点施設として「こども文化センター」などが位置づけられており、それぞれが市民活動支援の場の提供などを行っています。しかし、次のような課題があげられました。

- ・ 各拠点施設間の連携、情報の共有・発信が足りないのではないか。
- ・ 各施設の利用方法や相談窓口事業の広報など工夫が必要ではないか。

これらの課題を踏まえ、こども文化センターが「市民活動の地域の拠点としてどのような使われ方をしているか」などアンケートを実施することになりました。また、アンケート結果を基に、こども文化センターに出向き、ヒヤリングも実施することになりました。また、「麻生まちづくり市民の会」で実施する各市民活動施設調査の支援や、各施設間の連携方法について調査・検討していきます。

◇「あいさつが交し合える地域づくり事業」

「あいさつが交し合える地域づくり」を目的に、町内会・自治会などが地域の中でコミュニティ活動に取り組んでいる事例について、調査を行っています。昨年11月に、区内102ある町内会・自治会にアンケート調査を実施しました。

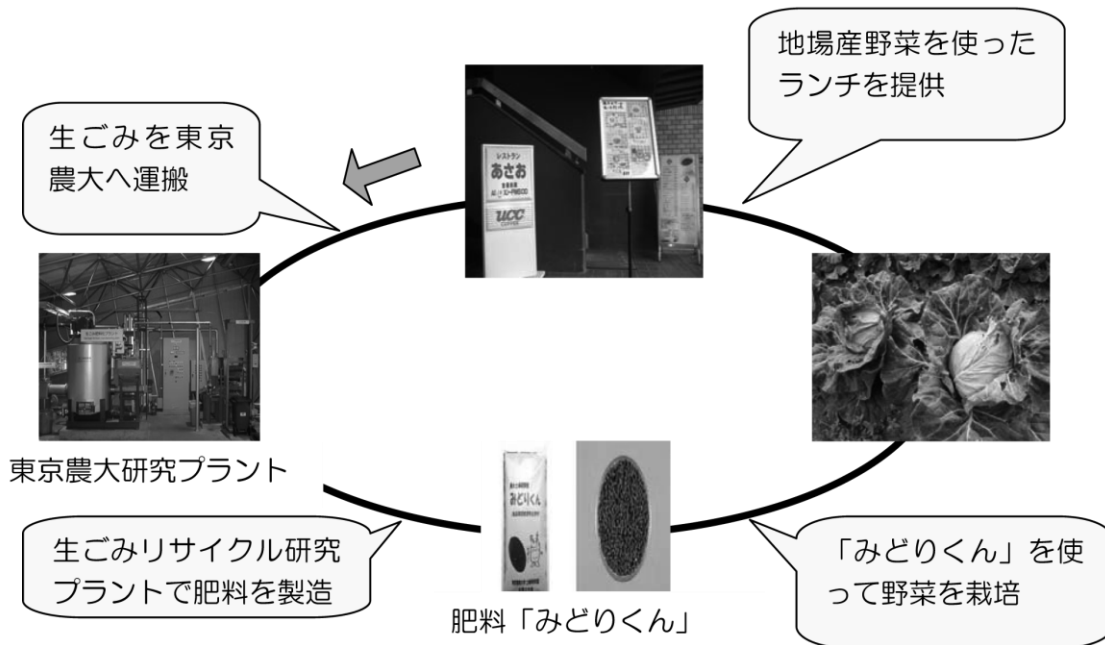
その中から、特徴的な取組を行っている町内会・自治会などにヒヤリング調査を継続して実施しております。併せて、それら調査結果を分析し、地域におけるコミュニティづくりに活用できる事例集として取りまとめ、来春に配布を予定しています。

②環境部会

◇生ごみのリサイクルの推進

3月3日より、「レストランあさお」（区役所4階）で発生した生ごみを収集し、東京農大のリサイクル研究プラントで肥料「みどりくん」を作る取組を行っています。そこでできた肥料は、区内農家の協力を得て、野菜作りに活用いただいています。また、その野菜を使ったメニューを毎月の食育の日（原則19日）に、「レストランあさお」でスペシャルランチとして提供していきます。

生ごみリサイクル概略図



◇ 地産地消の推進

区民会議の提案で、地産地消を進める取組として、生ごみで作った肥料「みどりくん」を使ってできた麻生区産野菜を使ったメニューを、レストランあさおで提供することを始めました。川崎市では、食育推進計画に基づき様々な活動が進められており、毎月19日の食育の日（休日の場合はその前日）に合わせてこの取組を実施していきます。

実施に当たっては、食生活改善推進委員（ヘルスマイト）の方などからの協力を得て、当日出された料理のレシピ・カロリー表・農産物の写真などをまとめたランチマットを作成し、情報提供していきます。



6月19日の
スペシャルランチ（一部）



ヘルスマイトの皆さんと環境部会委員の方々

第1回「食育の日」開催される

6月19日（金）、「レストランあさお」（麻生区役所内）で地場産野菜を使ったあさおスペシャルランチを提供しました。この取組は、区民会議からの提案を受け、レストランあさお・地元農家の井上さん・食生活改善推進委員（ヘルスマイト）の方などの協力を得て実現したものです。

当日の地場産の野菜を使ったメニューとして「キャベツとキュウリとジャコのサラダ」が提供されました。メニューの決定に当たっては試食会も開き、旬であるキャベツが一番おいしく食べられる料理を試行錯誤して決めたものです。

また、料理のレシピやカロリー表などをランチマットにして作成し、希望者にお配りしました。

今後も毎月旬の野菜を使ったメニューが提供されますので、ぜひご賞味ください！



◇環境家計簿について

区民会議では、地球温暖化を考えるきっかけとして、「環境家計簿」の取組を予定していました。しかし、「麻生まちづくり市民の会」でも同様の取組が予定されており、家計簿モニタリングコンテストの実施と、講演会の具体的な日程なども決定しておりました。これらを踏まえ、区民会議としては「麻生まちづくり市民の会」で実施するモニタリングコンテストに参加するなどして協力していくことになりました。



◇（仮称）「麻生区エコカルテ」の作成

身近な地域からの地球温暖化対策を進めるため、麻生区内におけるエコ関連の取組事例等を調査し、（仮称）「麻生区エコカルテ」を作成することになりました。

麻生区内の取組などを中心に、次のような内容で構成し、平成22年1月頃を完成予定にしています。なお、作成に当たっては、区内公立小学校の校長先生方などから意見を伺いながら進めています。

○「麻生区エコカルテ」構成（案）

- ・区内のエコ関連データの掲載
「土地利用」「みどりの分布」など
- ・区内のエコ関連の取組事例等の掲載
「区民」「企業」「行政」の取組事例
- ・エコマップの掲載
区全体・中学校単位で作成
- ・エコカルテの活用方法の掲載

○活用方法

区内小学校や市民館などに配布し、環境に関する授業・講座などを行う場合の基礎データとしての活用などを予定しています。

<エコカルテ>



◇生ごみリサイクルと地産地消フォーラムの開催について

生ごみリサイクルと地産地消の推進について、広く区民の方々のご理解をいただくために、次のようなフォーラム開催の提案がありました。今後、詳細については環境部会で協議していくことになりました。

- 1 開催日 11月29日(日) 13時～
- 2 実施内容
 - 1)講演 「(仮題)生ごみリサイクルについて」
東京農業大学 後藤教授
 - 2)事例発表
商店街・地域・団体・区民会議などの取組事例
 - 3)パネルディスカッション
- 3 生ごみから作った堆肥・肥料を使ってできた、花・野菜の写真展示
- 4 展示・説明ブースの設置
* 生ごみ堆肥づくりの機器の展示など

お知らせ

生ごみから作った堆肥・肥料を使って

できた花、野菜の写真展 作品募集

11月29日に開催する「生ごみリサイクルと地産地消フォーラム」において、写真展示を行います。募集案内は、区役所ホームページに掲載されているほか、企画課窓口で配布しています。



- * 今後の日程（区民のみなさんの傍聴をお待ちしています。詳細は麻生区役所企画課まで）
平成21年度 第6回区民会議 10月30日（金） 15：00～17：00
- * 区民会議へのご意見・ご提案は、随時募集しています。
区役所内2階ロビーに設置している「提案箱」や区ホームページをご利用ください。
- * 麻生区区民会議ニュースは、町会連合会のご協力により回覧されています。



第2期 麻生区区民会議 ニュース vol.5 2009.12

発行：麻生区区民会議
編集：企画部会
事務局：麻生区役所 企画課
電話：044-965-5112
Fax：044-965-5200
E-mail：73kikaku@city.kawasaki.jp

～心が響きあう地域づくり～

区民会議フォーラム開催

NHK「ご近所の底力」の番組仕掛け人がやってくる！

第2期区民会議の取組状況を区民の方々に報告するためのフォーラムを開催します。

特別ゲストとして、NHKの人気番組の一つである「難問解決！ご近所の底力」のチーフプロデューサー堂垣彰久氏をお招きし、番組制作の裏話、番組で取り上げた成功事例の紹介など、地域の課題解決に向けたヒントをお話しいたします。

(日時・場所)

平成22年2月7日(日) 13:00～16:00
麻生区役所4階 第1・2会議室

(内容)

アトラクション〔ミニコンサート〕

①開会

西谷区民会議委員長あいさつ
磯野区長あいさつ

②講演

「地域の課題を地域で解決」
～番組の仕掛け人が語る～
講師 NHK「難問解決！ご近所の底力」
チーフプロデューサー 堂垣彰久氏

③報告

区民会議の活動報告
環境部会、地域交流部会から、これまで取り組んだ内容を報告。

④質疑応答

参加者との質疑応答。

⑤閉会



◆◆◆ 堂垣彰久氏プロフィール ◆◆◆
平成元年NHK入局。番組制作ディレクター・デスク・プロデューサーとして、青森、東京、仙台、松江で勤務。「クローズアップ現代」「NHKスペシャル」などを担当。
平成20年より、「難問解決！ご近所の底力」のチーフ・プロデューサーとなり、現在に至る。
総務省「地域力創造に関する有識者会議」委員。

必見！麻生区地元の底力
地域のコミュニティ作りの
取組事例展示も行います

第6回・第7回 区民会議

平成21年10月30日（金）第6回区民会議、12月15日（火）第7回区民会議が開かれました。地域交流部会、環境部会から取組状況が報告され、意見交換・審議を行いました。

（傍聴者 第6回 5名、第7回 3名）

出席参与 第6回：雨笠、尾作、勝又、花輪、山崎、山口

第7回：花輪、山口

の各市議会議員

◆◇調査審議課題について◇◆

①地域交流部会

◇市民活動支援（こども文化センター調査）

市民活動を推進するために、地域の拠点でもある区内のこども文化センターの調査を行い、「市の拠点」「区の拠点」「地域の拠点」の連携や情報共有のあり方等について調査審議を行いました。

（実施日）平成21年8月～9月

（場所）区内10箇所のこども文化センター

（実施方法）

アンケート調査を実施後、結果を踏まえ、区民会議委員が分担して各こども文化センターを訪問、ヒアリング調査を実施

（調査結果）

- ・ 地域の拠点としての認知度が低く、利用団体が固定化している傾向がある。
- ・ こども文化センターは子ども利用が最優先の施設ですが、子どもたちの利用がない場合に限り市民活動としての利用が可能。
- ・ 現在は利用数がそれほど多くなく調整できているが、市民活動での利用希望が多くなった場合、利用制限が必要になる。

（検討内容）

- ・ 積極的な広報が必要であるとの意見があり、今後、「区役所」や「やまゆり」のホームページ、市政だより区版を使った広報や利用促進のためのチラシ等を作成する必要がある。
- ・ 「地域の拠点」としては他の施設の利用も検討されるべき。



以上のような報告があり、これに関連して、1期で行われた「老人いこいの家」についての提言にも言及されました。

区内「老人いこいの家」の半数がこども文化センターと合築されている施設であり、「地域の拠点」としての「老人いこいの家」の利用もあわせて検討が必要との意見がありました。

◇あいさつが交し合える地域づくり事業

第1期区民会議の提言を受けて実施している「あいさつが交しあえる地域づくり事例集」の作成経過などが報告されました。

（作成経過）

平成20年11月

町会・自治会のアンケート調査（102団体）

平成20年12月

市民活動団体のヒアリング調査（15団体）

平成21年3月

ヒアリング調査対象の町内会・自治会

（23団体）の選定、実施

平成21年5月 ヒアリング調査分析

平成21年11月～ 原稿確認、校正

（今後の予定）

町内会・自治会等で行われているコミュニティ活動の内容や活動の工夫、成功要因、活動の効果などを分析し、平成22年3月までに事例集を作成します。

◇エコバッグを通じた世代間交流

小学生と高齢者の世代間交流を目的に、区内にある「こども文化センター」と「老人いこいの家」の合築施設でオリジナルエコバッグを作成しました。エコ意識の高揚を目的に専修大学学生が作成した「エコかるた」を使って参加者全員で交流したあと、エコバッグを作成しました。

11月8日(日) 麻生こども文化センター

参加者 27名(3)

11月18日(水) 岡上老人いこいの家

参加者 29名(12)

()内は高齢者の参加人数



「エコかるた」を使ったかるたとりはとても盛り上がり、エコバッグ作成も楽しく行われました。自分の住む地域でもやってみたいという参加者もあり、少しずつ取組が広がっています。

◇しんゆり・芸術祭の開催に伴う

小中学生による絵画展

平成 22 年のゴールデンウィークに開催される「川崎・しんゆり芸術祭 2010」を盛り上げる目的で小中学生による絵画展を開催することになりました。

(展示期間)

平成 22 年 4 月 28 日～5月6日

(実施場所)

新百合ヶ丘駅北口側の小田急電鉄側フェンスに作品を掲示する。

今回は区内こども文化センターに依頼し、「わがまち●●●(こ文名)」というテーマで作成していただく予定です。

◇しんゆり・芸術祭の開催に伴う

美化清掃活動

「川崎・しんゆり芸術祭 2010」に区内外から多くの来場者があることから、区民会議が関係機関に働きかけ、昨年に引き続き新百合ヶ丘駅周辺の清掃活動を実施することになりました。

(日時)

4月20日(火) 午前9:30～

予備日(荒天の場合) 4月21日(水)

(実施場所)

新百合ヶ丘駅北口

南口ペDESTロリアンデッキ

南口バスロータリー待合場所など

②環境部会

◇「麻生区エコカルテ」の作成

麻生区内のエコ関連データや取組事例(区民・企業・行政)を掲載した麻生区エコカルテを作成し、小学校の環境学習等に活用していただく予定です。



(構成)

麻生区における温暖化の状況

麻生区における自然環境資源

麻生区内のエコ活動

エコの取組事例紹介(区民・企業・行政)

地域別に見たエコ活動(中学校区単位)など

◇◇「生ごみリサイクルと地産地消フォーラム」報告◇◇

去る平成21年11月29日（日）、環境部会が取り組む「生ごみリサイクルと地産地消」をテーマにしたフォーラムが開催されました。会場いっぱい参加者の中、生ごみリサイクルの現状や身近で活動している団体の取組が発表されました。（参加人数 132名）



（内容）

○講演○「生ごみリサイクルで環境に優しい地産地消」 東京農業大学 後藤逸男教授

○取組み事例発表○

- ・「じゅんかんチャレンジ 桜丘」の取組み じゅんかんチャレンジ 桜丘推進協議会（世田谷区）
- ・市民、農家、行政の連携による「生ごみ堆肥化」 あさお生きごみ隊（麻生区）
- ・手軽にできる「ダブル・ゼロ・ストで生ごみリサイクル」 環境を考え行動する会（麻生区）
- ・「レストランあさお」のモデル事業 麻生区区民会議 環境部会（麻生区）

○パネルディスカッション○ ～コーディネーター 麻生区区民会議 西谷明子委員長～

パネラー	東京農業大学応用生物科学部	後藤逸男教授
	明治大学農学部	玉置雅彦教授
	JAセレサ川崎営農経済本部	梶 稔部長
	川崎市環境局廃棄物政策担当	佐藤好子主幹

大盛況！
参加の皆さんの環境に対する意識の高さを感じました。



○展示コーナー

各団体の取組をブースで展示

じゅんかんチャレンジ桜丘推進協議会/麻生生きごみ隊/
環境を考え行動する会/川崎・ごみを考える市民連絡会/
JAセレサ川崎

写真展：19 作品（生ごみ堆肥・肥料で育てた花や野菜の写真）

○直売コーナー（区役所前広場にて）

柿生野菜生産者直売会にご協力いただきました。

○講演・発表・パネルディスカッションより○

東京農業大学後藤教授の講演を初め、事例発表された各団体の方々から、日頃取組んでおられる具体的な事例やその効果などについてとても熱心にご説明をいただきました。

パネルディスカッションでは、各パネラーからリサイクルの取組や今後の取組みの方向性などについて話されました。

○アンケートより○

アンケート結果では、「各々のグループが生ごみの減量を通じて、環境への配慮をしていることが身近に感じられた。」「無関心な区民も、少しずつでも巻き込む努力を」などのご意見があり、「大変参考になった」「参考になった」と回答された方が、8割を超える結果となりました。

- * 今後の日程（区民のみなさんの傍聴をお待ちしています。詳細は麻生区役所企画課まで）
平成21年度 第8回区民会議 平成22年3月15日（月）15：00～17：00
- * 区民会議へのご意見・ご提案は、随時募集しています。
区役所内2階ロビーに設置している「提案箱」や区ホームページをご利用ください。
- * 麻生区区民会議ニュースは、町会連合会のご協力により回覧されています。

4

関係規定

区民会議諸規定体系図

条例＝議会の議決により定めるもの
規則＝市長が定めるもの

**区民会議
条例**
(平成18年4月1日施行)

区民会議を設置するために必要な
各区に共通する
基本的な事項を定めるもの

**区民会議条例
施行規則**
(平成18年4月1日施行)

条例で定めるもののほか、
各区に共通する
区民会議の組織に関し定めるもの

区長が定めるもの

**区民会議
要綱**
(平成18年4月1日施行)

条例及び規則で定めるもののほか、
麻生区区民会議の組織に関し
必要な事項を定めるもの

**区民会議委員
公募要領**
(平成18年4月1日施行)

区民会議委員の公募に関し
必要な事項を定めるもの

区民会議が定めるもの

**区民会議
運営要領**

麻生区区民会議の運営に関し
必要な事項を定めるもの

(目的及び設置)

第 1 条 区民(川崎市自治基本条例(平成 16 年川崎市条例第 60 号)第 22 条第 1 項に規定する区民をいう。以下同じ。)の参加及び協働による区における地域社会の課題の解決を図るための調査審議を行い、もって暮らしやすい地域社会の形成に資するため、各区に区民により構成される区民会議を設置する。

(名称)

第 2 条 区民会議の名称は、その置かれた区の名称を冠するものとする。

(所掌事務)

第 3 条 区民会議の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 区における地域社会の課題を把握し、その解決を図るための方針及び方策について調査審議を行うこと。
- (2) 前号に掲げるもののほか、第 1 条の目的を達成するために必要な事項について調査審議を行うこと。

(組織等)

第 4 条 区民会議は、委員 20 人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 区の区域内において規則で定める分野における活動を行う団体から推薦された者
- (2) 区民会議の委員に応募した者
- (3) その他区民会議の目的を達成するために区長が必要と認めた者

3 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 区民会議に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理し、区民会議を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 区民会議は委員長が招集し、委員長はその会議の議長となる。

2 区民会議は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

(専門部会)

第 7 条 区民会議は、必要に応じ専門部会を置くことができる。

(関係者の出席)

第 8 条 区民会議は、調査審議のため必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(区民会議参与)

第 9 条 川崎市の議会の議員及び神奈川県議会の議員は、その議員の選挙区とされる区の区民会議の会議に出席することができる。

2 前項の規定により会議に出席した議員は、区民会議参与として必要な助言をすることができる。

(区長等の役割)

第 10 条 区長は、区民会議の調査審議の結果を尊重し、区民との協働の推進、関係機関との連携その他必要な取組により、区における暮らしやすい地域社会の形成に努めるものとする。

2 市長その他の執行機関は、区民会議の調査審議の結果を尊重し、前項に規定する区長の役割が的確に果たされるための必要な措置を講ずるよう努めるとともに、当該結果を市政に反映するよう努めるものとする。

(庶務)

第 11 条 区民会議の庶務は、各区役所において処理する。

(委任)

第 12 条 この条例に定めるもののほか、区民会議の組織に関し必要な事項は規則で定め、区民会議の運営に関し必要な事項は委員長が区民会議に諮って定める。

附 則

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

(趣旨)

第 1 条 この規則は、川崎市区民会議条例(平成 18 年川崎市条例第 11 号。以下「条例」という。)第 4 条第 2 項第 1 号及び第 12 条の規定に基づき、区民会議の組織に関し必要な事項を定めるものとする。

(課題の選定)

第 2 条 区民会議は、区民会議の委員が自らの活動等を通じて把握した課題及び区役所が業務を通じて把握した課題のうちから調査審議すべき課題を適切に選定するものとする。

(分野)

第 3 条 条例第 4 条第 2 項第 1 号に規定する規則で定める分野は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 防災又は地域交通環境の向上など安全で快適な暮らしを支える分野
- (2) 福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野
- (3) 子育て、教育など人を育て心をはぐくむ分野
- (4) 緑の保全、ごみの抑制など自然環境又は生活環境を向上させる分野
- (5) 産業の振興、都市拠点の形成などまちの活力を高める分野
- (6) 文化又は観光の振興などまちの魅力を発信する分野
- (7) 地域住民組織活動、まちづくり活動など市民自治を推進する分野
- (8) 前各号に定めるもののほか、各区の地域特性に応じた課題に関する分野

(専門部会)

第 4 条 区民会議は必要に応じ委員で構成される専門部会を設置し、専門部会は専門的事項に関する調査検討を行うものとする。

- 2 専門部会に属すべき委員は、委員長が区民会議に諮って指名する。
- 3 専門部会に部会長を置き、専門部会に属する委員の互選により定める。
- 4 専門部会は、調査検討のため必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。
- 5 部会長は、専門部会の事務を掌理し、専門部会の調査検討の経過及び結果を区民会議に報告するものとする。

(委任)

第 5 条 この規則に定めるもののほか、区民会議の組織に関し必要な事項は、区長が定める。

附 則

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

(趣旨)

第1条 この要綱は、川崎市区民会議条例（平成18年川崎市条例第11号。以下「条例」という。）第1条の規定に基づき設置する麻生区区民会議（以下「区民会議」という。）の組織について、条例及び川崎市区民会議条例施行規則（平成18年川崎市規則第28号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(組織等)

第2条 区民会議は、委員20人以内で組織し、条例第4条第2項各号に掲げる委員の数は、次のとおりとする。

- (1) 区の区域内において規則に定める分野における活動を行う団体から推薦された者（以下「団体推薦委員」という。） 7人以内
 - (2) 区民会議の委員に応募した者（以下「公募委員」という。） 7人以内
 - (3) その他区民会議の目的を達成するために区長が必要と認めた者（以下「区長推薦委員」という。） 6人以内
- 2 前項第2号の場合において、公募委員がその定数に満たないときは、その定数の範囲内で区長推薦委員を増やすことができる。
- 3 委員は、1期に限り再任されることができる。ただし、専門的な知識又は経験を有する者が他に得られない場合など特別の事情があると区長が認めた場合は、この限りでない。

(団体推薦委員)

第3条 区長は、条例第4条第2項第1号の規定に基づき、地域社会の課題の解決を推進するため、規則第3条各号に規定するそれぞれの分野ごとに、委員への推薦が必要と認められる団体（以下「推薦団体」という。）を選定し、当該団体代表者に委員の推薦を依頼するものとする。

(推薦団体委員の選出手続)

第4条 推薦団体は、区長から委員の推薦依頼を受けたときは、麻生区区民会議委員推薦書（第1号様式）により、速やかに委員の推薦を行うものとする。

- 2 推薦団体が推薦する委員は、当該推薦団体の構成員でなければならない。
- 3 区長は、性別、世代などを考慮し、必要に応じて推薦団体に対し、委員の推薦に条件を付することができる。
- 4 推薦団体が委員を変更する場合には、麻生区区民会議委員推薦変更届（第2号様式）を区長に提出しなければならない。
- 5 第1項により推薦された者は、麻生区区民会議委員就任承諾書（第3号様式）を区長に提出するものとする。

(公募委員)

第5条 区長は、条例第4条第2項第2号の規定に基づき、委員に応募した者の中から委員を選任するものとする。

- 2 委員を募集する上で必要な事項は、区長が別に定める麻生区区民会議委員公募要領に定めるところによる。

3 第1項により選任された者は、麻生区区民会議委員就任承諾書を区長に提出するものとする。

(区長推薦委員)

第6条 区長は、条例第4条第2項第3号の規定に基づき、区民会議の目的を達成するために必要と認めた者を選任するものとする。

2 前項により選任された者は、麻生区区民会議委員就任承諾書を区長に提出するものとする。ただし、団体を選定し、当該団体の代表者に委員の推薦を依頼する場合には、第4条の規定を準用する。

(公募委員選考委員会)

第7条 第5条第1項の規定に基づく公募委員の選任を適正かつ公正に行うため、麻生区区民会議公募委員選考委員会(以下「選考委員会」という。)を設置するものとする。

(選考委員会の組織)

第8条 選考委員会は委員5人以内で組織し、次に掲げる者をもって充てる。

- (1) 区長
- (2) 副区長
- (3) 専門的知識を有する者
- (4) その他区長が必要と認める者

(選考委員会の委員長)

第9条 選考委員会には委員長を置き、区長をもって充てる。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指名する者がその職務を代理する。

(選考委員会の会議)

第10条 選考委員会は、委員長が召集する。

- 2 選考委員会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(庶務)

第11条 区民会議の庶務は、企画課において処理する。

(その他)

第12条 この要綱に定めるもののほか、区民会議の組織に関し必要な事項は区長が定める。

附 則

この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

第2期麻生区区民会議委員公募要領

(趣旨)

第1条 この要領は、川崎市区民会議条例（平成18年川崎市条例第11号。）第4条第2項第2号及び麻生区区民会議要綱（以下「要綱」という。）第5条第1項の規定に基づき、麻生区区民会議（以下「区民会議」という。）委員の公募に関し必要な事項を定めるものとする。

(申込資格)

第2条 区民会議の公募の委員（以下「公募委員」という。）に申し込むことができる者の資格は、平成20年4月1日の時点で次に掲げる事項に該当する者とする。

- (1) 年齢18歳以上の者
- (2) 麻生区に引き続き1年以上住所を有している者、区域内で働き若しくは学ぶ者又は区域内で事業活動その他の活動を行っている者
- (3) 本市の附属機関等の委員となっていない者
- (4) 市職員でない者。ただし、市退職職員は申し込むことができる。

(公募人数)

第3条 公募委員の数は、7人以内とする。

(任期)

第4条 公募委員の任期は、委嘱日から2年間とする。

(申込方法及び申込期限)

第5条 公募委員に申し込もうとする者は、原則として市販の罫紙、便せん等の用紙に次に掲げる事項を記載したもの（様式は、自由とする。以下「申込書」という。）に、小論文（800字程度のもの）を添付して提出するものとする。

- (1) 申し込む附属機関等の名称（麻生区区民会議）
- (2) 住所、氏名、電話番号、性別及び年齢
- (3) 現在の職業または学校
- (4) 主な職歴
- (5) 活動経歴
- (6) 申込の理由

2 前項の小論文のテーマは、「私が考える麻生のまちづくり」とする。

3 申込期限は、平成20年4月30日までとする。ただし、郵送による場合は同日の消印までとする。

4 申込書及び小論文は、返却しないものとする。

(選考方法等)

第6条 公募委員の選考は、申込書及び小論文による書類選考により行うものとする。

2 前項の選考は、要綱第7条に規定する麻生区区民会議公募委員選考委員会をもって行うものとする。

3 選考の結果について、当該申込者に通知するものとする。

(特例)

第7条 公募を行った場合において、次に掲げるときは、公募によらないで区長が必要と認められた者を選任することができる。

- (1) 申込期限までに申込みがなかったとき。
- (2) 申込者の全員が申込資格を満たさなかったとき。
- (3) 選考の結果、該当者がなかったとき。
- (4) 申込者数が公募人数に満たなかったとき（その満たない人数に限る。）。
- (5) 申込者の一部が申込資格を満たさなかったことにより公募人数に満たなかったとき（その満たない人数に限る。）。
- (6) 選考の結果、該当者が公募人数に満たなかったとき（その満たない人数に限る。）。

附 則

この要領は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この要領は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 第1期麻生区区民会議委員公募要領（平成18年4月1日施行）は、廃止する。

(趣旨)

第1条 この要領は、川崎市区民会議条例（平成18年川崎市条例第11号。以下「条例」という。）第12条の規定に基づき、麻生区区民会議（以下「区民会議」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 区民会議は、条例第3条の規定に基づく所掌事務のほか、次に掲げる事項を処理するものとする。

- (1) 課題解決に向けた取組に対する進行管理及び評価に関すること。
- (2) 協働推進事業の事業計画、執行状況等の報告を受けること。

(課題の選定)

第3条 区民会議は、川崎市区民会議条例施行規則（平成18年川崎市規則第28号。以下「規則」という。）第2条の規定に基づき把握した課題のほか、次に掲げる方法により広く区民から地域社会が抱える課題を把握し、調査審議すべき課題を適切に選定するものとする。

- (1) ホームページ
- (2) 地域メディア
- (3) 区民会議への提案箱

(副委員長)

第4条 条例第5条に基づき置かれる副委員長は2名とする。

- 2 副委員長は、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指定した順序によりその職務を代理する。

(会議運営)

第5条 区民会議は、原則として年4回開催する。

- 2 開催日時は、委員長が第8条に規定する企画部会に諮って決するものとする。
- 3 前項の規定にかかわらず、委員長が必要があると認めるときは、臨時会を開催することができる。

(議事運営)

第6条 区民会議の議事は、出席委員の一致により決することを原則とする。ただし、委員長がこれにより難いと認める場合は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(専門部会)

第7条 条例第7条に規定する専門部会の設置及び廃止は、委員長が区民会議に諮って決するものとする。

- 2 専門部会に属すべき委員は、委員の互選により定める。
- 3 専門部会に副部会長を置くことができる。
- 4 専門部会における調査検討の結果は、出席部会員の合意により区民会議に提案することを原則とする。

(企画部会)

第8条 区民会議に委員長、副委員長及び委員若干名で構成する企画部会を置く。

2 企画部会に属すべき委員(委員長及び副委員長を除く。)は、委員の互選により定める。

3 企画部会に副部会長を置くことができる。

4 企画部会は、次に掲げる事項を処理するものとする。

(1) 会議運営の事前調整に関する事。

(2) 課題の整理及び調整に関する事。

(3) 区民会議の広報及び広聴に関する事。

(4) その他区民会議から委任を受けた事項に関する事。

(関係者の出席)

第9条 区民会議に条例第8条の規定に基づき関係者の出席を求める場合は、委員長が区民会議に諮って決するものとする。

2 専門部会及び企画部会に規則第4条第4項の規定に基づき関係者の出席を求める場合は、部会長がそれぞれの部会に諮って決するものとする。

(その他)

第10条 この要領に定めるもののほか、区民会議の運営に関し必要な事項は委員長が区民会議に諮って定める。

附 則

この要領は、平成20年 7月30日から施行する。

第2期麻生区区民会議報告書
(平成20年7月～平成22年6月)

発行：麻生区区民会議
麻生区役所（麻生区役所企画課）
〒215-8570 川崎市麻生区万福寺1-5-1
電話：044-965-5112
FAX：044-965-5200



麻生区区民会議